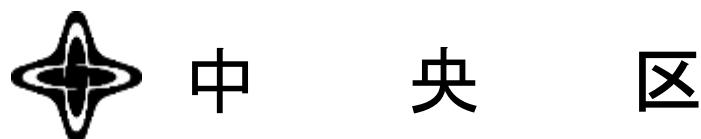


中央区ごみ排出実態調査

報告書

令和7年3月



目次

第1章	調査の概要.....	1
1	目的	1
2	調査項目および調査期間.....	1
3	調査フロー	2
第2章	中央区の地域特性の解析.....	3
1	解析の目的と方法.....	3
2	解析結果	4
第3章	家庭系ごみ排出原単位調査.....	8
1	調査の目的と方法.....	8
2	調査結果	8
第4章	家庭系ごみ組成分析調査.....	11
1	調査目的と方法.....	11
2	調査結果	14
第5章	区民アンケート調査.....	23
1	調査概要	23
2	調査結果	24
第6章	事業所アンケート調査.....	34
1	調査概要	34
2	調査結果	35
第7章	中央区のごみ・資源量の推計.....	42
1	家庭系ごみ・資源の推計量.....	42
2	事業系ごみ・資源の推計量.....	44
3	中央区のごみ・資源の推計量（全体）	47

数表については、端数処理のため、合計と内訳が一致しない場合がある。

第1章 調査の概要

1 目的

本調査は、区内の家庭や事業所から排出されたごみについて、ごみ量および性状等の調査を行うとともに、ごみの減量・リサイクルに関する区民・事業者の意識、取組状況等を把握するものである。

得られたデータを整理・分析することによって、中央区一般廃棄物処理基本計画の見直しおよび循環型社会の推進に向けた各種施策立案に活用するものである。

2 調査項目および調査期間

(1) 中央区の地域特性の解析

世帯構成別の人口や業種別の従業者数等の統計データを用いて中央区の地域特性を解析し、複数のグループにまとめるとともに、本区の世帯等の特性をできるだけ網羅するよう調査対象地域を選定した。

○解析期間： 令和6年4月～5月

(2) 家庭系ごみ排出原単位調査

区民1人1日当たりの燃やすごみ、燃やさないごみ、プラスチック製容器包装および資源（びん、缶、ペットボトル、調理器具等）の排出量を調査した。

○調査期間：令和6年6月10日（月）～22日（土）のうち、日曜を除く計12日間

(3) 家庭系ごみ組成分析調査

家庭から排出される燃やすごみ、燃やさないごみ、プラスチック製容器包装および資源の組成を調査した。

○調査期間：令和6年6月26日（水）～7月9日（火）のうち、日曜日を除く計12日間

(4) 区民アンケート調査

区民の不用物の処理方法やごみ処理・リサイクルに対する意識等を調査した。令和6年8月30日に調査票を発送し、令和6年9月27日到着分までを集計対象とした。

(5) 事業所アンケート調査

事業系の不用物の処理方法や処理量、ごみ処理・リサイクルに対する意識等を調査した。令和6年8月30日に調査票を発送し、令和6年9月27日到着分までを集計対象とした。

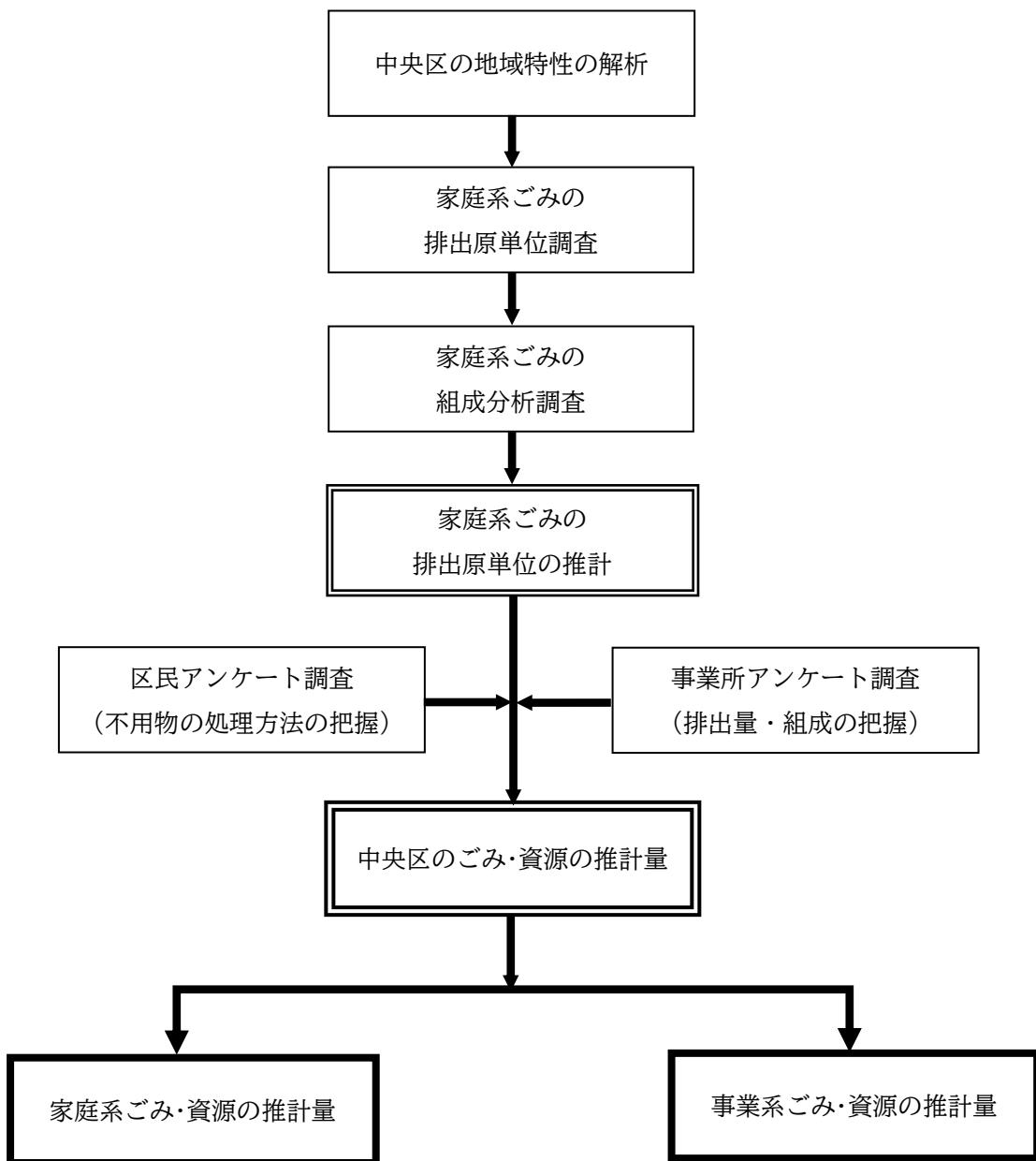
(6) 中央区のごみ・資源量の推計

(1)～(5)の結果を踏まえ、令和6年度における本区のごみ・資源の量を推計した。

3 調査フロー

本調査のフローは図 1 - 1 に示すとおりである。

図 1 - 1 調査フロー



第2章 中央区の地域特性の解析

1 解析の目的と方法

本調査の調査対象地域を選定するに当たり、世帯構成別の人ロや住宅形態等の統計データを用いて中央区の地域特性を解析し、その解析結果に基づき本区をいくつかのグループにまとめ、これらのグループごとに、区の世帯等の特性をできるだけ網羅するよう調査対象地区を選定し、調査を行うこととした。これは、家庭ごみが世帯構成や住宅形態、周辺の地域環境、事業所の状況等によって、排出量および組成が異なった傾向を示すことを考慮したものである。

地域特性の解析には、次に示す二つの分析方法を用いた。

(1) 主成分分析

単身世帯、一戸建て住宅、高齢者世帯等、複数ある変数をそれぞれの変数のばらつきの傾向からお互いに関連性を持った変数をまとめて、独立した新たな変数にまとめる分析方法

(2) クラスター分析

多数の町丁目が集合して成り立っている本区のように、異なる性質（地域特性）のもの同士が混ざり合っている状態の中から、互いに類似したものを集め、その対象をある一定の性質（地域特性）のもとに分類する分析方法

解析に使用した変数を表2-1に示す。

表2-1 解析に使用する変数

出典	項目		変数
令和2年国勢調査	世帯特性	1	人口密度
		2	平均一般世帯人数
		3	単身世帯比率
		4	65歳以上の親族がいる世帯比率
	住宅形態	5	一戸建（世帯数）比
		6	1～5階建共同住宅（世帯数）比
		7	6階建以上共同住宅（世帯数）比
令和3年経済センサス (活動調査)	事業所特性	8	事業所数（単位面積当たり）
		9	従業者数（単位面積当たり）
	業種	10	建設事業所数（単位面積当たり）
		11	製造業事業所数（単位面積当たり）
		12	運輸業事業所数（単位面積当たり）
		13	卸売・小売業事業所数（単位面積当たり）
		14	飲食店・宿泊業事業所数（単位面積当たり）
		15	サービス業事業所数※（単位面積当たり）
	従業者数規模	16	0～4人 事業所数（単位面積当たり）
		17	5～29人 事業所数（単位面積当たり）
		18	30人～ 事業所数（単位面積当たり）

※サービス業事業所数：「生活関連サービス業、娯楽業」および「サービス業（他に分類されないもの）」の和

2 解析結果

(1) 主成分分析の結果

主成分分析の結果を表2－2に示す。分析の結果、5個の主成分に集約された。

表2－2 主成分分析の結果（因子負荷量）

項目	変 数	主成分1	主成分2	主成分3	主成分4	主成分5
世帯特性	人口密度	-0.42	0.73	0.08	0.10	0.06
	平均一般世帯人数	-0.04	0.66	0.54	0.17	0.05
	単身世帯比率	0.60	0.27	0.08	0.19	0.21
	65歳以上の親族がいる世帯比率	0.18	0.01	0.81	0.14	0.01
住宅形態	一戸建（世帯数）比	0.20	-0.22	-0.09	0.78	0.50
	1～5階建共同住宅比	0.03	-0.09	0.43	0.42	-0.71
	6階建以上共同住宅比	0.01	0.85	0.07	-0.32	0.10
事業所特性	事業所数（単位面積当たり）	0.98	-0.01	0.06	-0.05	0.04
	従業者数（単位面積当たり）	0.77	-0.21	0.10	-0.17	-0.15
業種	建設業事業所数（単位面積当たり）	0.67	0.31	-0.33	0.17	-0.25
	製造業事業所数（単位面積当たり）	0.57	0.39	-0.47	0.23	-0.10
	運輸業事業所数（単位面積当たり）	0.69	0.21	-0.25	0.07	-0.11
	卸売・小売業事業所数（単位面積当たり）	0.88	0.03	0.00	-0.03	0.02
	飲食店、宿泊業事業所数（単位面積当たり）	0.62	-0.25	0.44	-0.22	0.26
	サービス業事業所数（単位面積当たり）	0.92	-0.02	0.08	-0.10	0.01
従業者数規模	0～4人 事業所数（単位面積当たり）	0.92	0.11	0.03	-0.07	0.07
	5～29人 事業所数（単位面積当たり）	0.97	-0.10	0.13	-0.04	0.06
	30人～事業所数（単位面積当たり）	0.88	-0.06	-0.10	-0.01	-0.14
主成分の主な特徴		人口密度 低い	人口密度 高い	人口密度 やや低い	人口密度 やや低い	人口密度 低い
		世帯人数 少ない	世帯人数 多い	世帯人数 やや多い	世帯人数 やや少ない	世帯人数 少ない
		一戸建て 平均並み	一戸建て 少ない	一戸建て 少ない	一戸建て 多い	一戸建て やや多い
		1～5階 共同住宅 やや少ない	1～5階 共同住宅 少ない	1～5階 共同住宅 多い	1～5階 共同住宅 多い	1～5階 共同住宅 少ない
		6階以上 共同住宅 やや少ない	6階以上 共同住宅 多い	6階以上 共同住宅 やや少ない	6階以上 共同住宅 少ない	6階以上 共同住宅 やや少ない
		事業所数 多い	事業所数 やや少ない	事業所数 やや多い	事業所数 少ない	事業所数 少ない
		従業者数 多い	従業者数 少ない	従業者数 やや多い	従業者数 少ない	従業者数 やや多い

因子負荷量の数値について数字が正の値は正の影響、負の値は負の影響を示している。

■ : 0.0 未満、□ : 0.0 以上～0.7 未満、■ : 0.7 以上

(2) クラスター分析の結果

クラスター分析の結果を表2-3～5、結果をマップ化した地図を図2-1に示す。分析の結果、5つのクラスターに分類された。

表2-3 主成分分析とクラスターの要因関係

クラスター番号	該当町 丁目の数	主成分1	主成分2	主成分3	主成分4	主成分5
クラスター1	31	-0.558	0.145	-0.007	0.193	-0.194
クラスター2	24	2.388	0.715	-1.117	0.259	-0.120
クラスター3	16	3.759	-0.925	1.195	-0.556	0.332
クラスター4	24	-3.290	0.607	0.874	0.082	0.284
クラスター5	3	-3.886	-4.262	-2.664	-1.081	-0.739

■ : 0.0未満、□ : 0.0以上～1.0未満、■ : 1.0以上

表2-4 クラスター間平均値

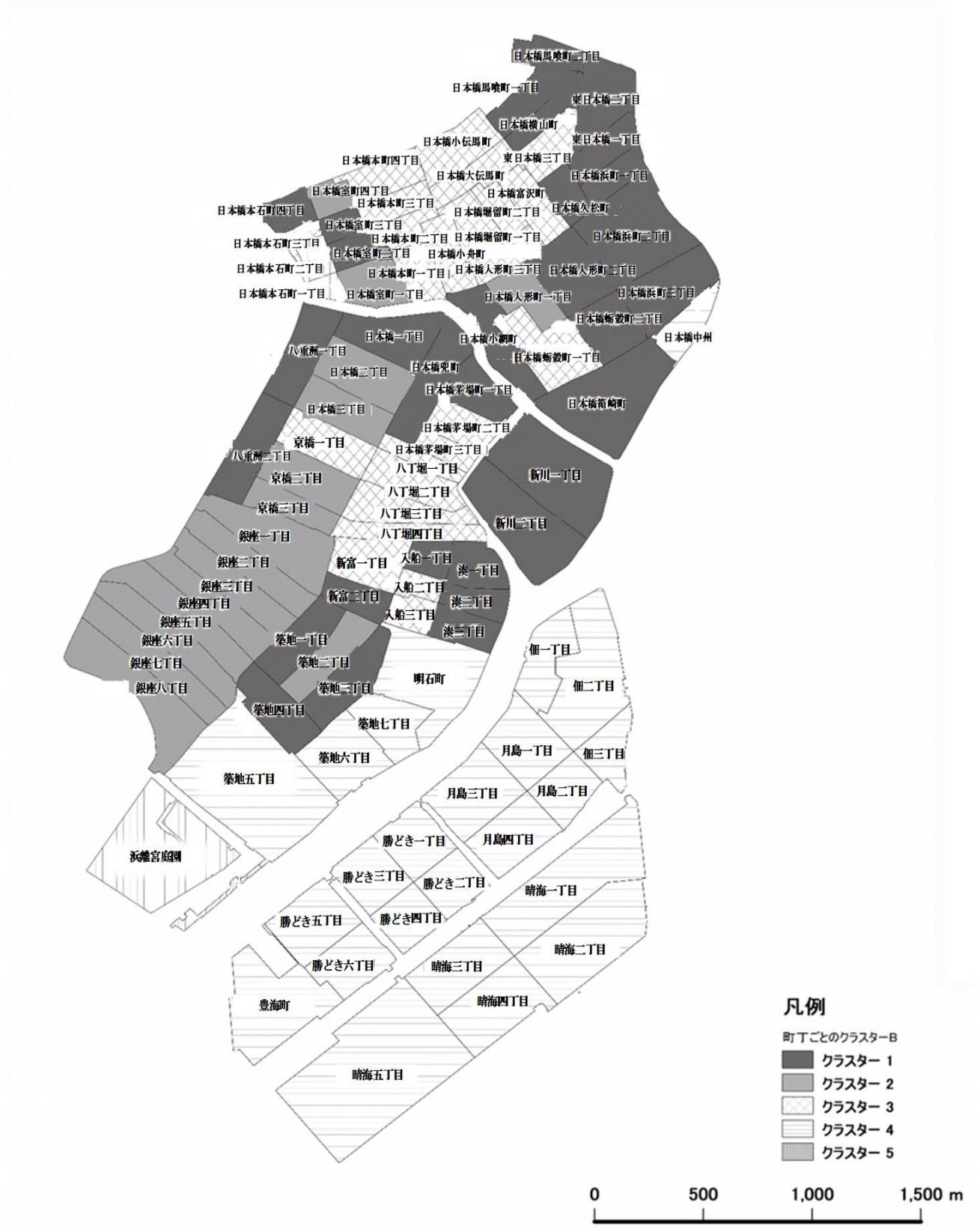
項目	変数	クラスター1	クラスター2	クラスター3	クラスター4	クラスター5
世帯特性	人口密度	18,956	18,534	4,890	33,886	0.00
	平均一般世帯人数	1.68	1.53	1.55	1.92	0.00
	単身世帯比率	0.61	0.67	0.66	0.49	0.00
	65歳以上の親族がいる世帯比率	0.17	0.13	0.29	0.23	0.00
住宅形態	一戸建（世帯数）比	0.05	0.09	0.07	0.05	0.00
	1～5階建共同住宅比	0.05	0.02	0.03	0.03	0.00
	6階建以上共同住宅比	0.75	0.82	0.65	0.87	0.00
事業所 特性	事業所数（単位面積当たり）	3,804	6,763	8,735	1,149	815
	従業者数（単位面積当たり）	87,843	128,378	194,072	28,736	51,793
業種	建設業事業所数（単位面積当たり）	129	260	160	39	40
	製造業事業所数（単位面積当たり）	205	356	175	37	44
	運輸業事業所数（単位面積当たり）	72	173	164	39	15
	卸売・小売業事業所数（単位面積当たり）	1,149	1,977	2,174	284	184
	飲食店、宿泊業事業所数（単位面積当たり）	399	505	1,540	176	61
	サービス業事業所数（単位面積当たり）	441	842	1,165	121	59
従業者数 規模	0～4人 事業所数（単位面積当たり）	1,692	2,989	3,715	571	390
	5～29人 事業所数（単位面積当たり）	1,569	2,782	3,938	436	251
	30人～事業所数（単位面積当たり）	467	892	947	129	163

■ : 最小値、■ : 最大値

表2－5 クラスター分析による中央区の町丁目の分類

クラスター番号	人口 (人口密度人/km ²)	クラスターの主な特性	町丁目		
			京橋地域	日本橋地域	月島地域
1	50,066 (18,590)	・人口がやや多い。 ・1～5階建共同住宅の割合が高い。	八重洲二丁目、新富二丁目、入船一丁目、湊一～三丁目、築地一・三・四丁目、新川一・二丁目	八重洲一丁目、日本橋本石町四丁目、日本橋室町二・三丁目、日本橋人形町二丁目、日本橋小網町、日本橋蛎殻町二丁目、日本橋箱崎町、日本橋馬喰町一・二丁目、日本橋横山町、東日本橋一・二丁目、日本橋久松町、日本橋浜町一～三丁目、日本橋一丁目、日本橋茅場町一丁目、日本橋兜町	無し
2	24,526 (18,725)	・人口がやや多い。 ・単身世帯の割合がやや高い。 ・65歳以上の親族がいる世帯の割合が低い。 ・一戸建の割合が高く、1～5階建共同住宅の割合が低い。 ・事業所数および従業者数がやや多い。 ・建設業、製造業の事業所数が多い。	京橋一丁目、新富一丁目、入船二・三丁目、八丁堀一～四丁目	日本橋本石町三丁目、日本橋本町一～四丁目、日本橋小舟町、日本橋大伝馬町、日本橋小伝馬町、日本橋堀留町一・二丁目、日本橋富沢町、日本橋人形町三丁目、日本橋蛎殻町一丁目、東日本橋三丁目、日本橋茅場町二・三丁目	無し
3	6,646 (4,645)	・人口が少ない。 ・単身世帯および65歳以上の親族のいる世帯の割合が高い。 ・事業所数および従業者数が多い。 ・運輸業、卸売・小売業、飲食店、宿泊業、サービス業の事業所数が多い	京橋二・三丁目、銀座一～八丁目、築地二丁目	日本橋室町一・四丁目、日本橋人形町一丁目、日本橋二・三丁目	無し
4	87,941 (27,338)	・人口が特に多い。 ・世帯人数が多く、単身世帯の割合が低い。 ・6階建以上共同住宅の割合が高く、一戸建の割合が低い。 ・事業所数および従業者数が少ない。	築地五～七丁目、明石町	日本橋中洲	佃一～三丁目、月島一～四丁目、勝どき一～六丁目、豊海町、晴海一～五丁目
5	0 (0.00)	・人口は無人である。 ・建物がほぼない。 ・事業所数が少ない。	浜離宮庭園	日本橋本石町一・二丁目	無し

図2-1 中央区クラスター・マップ



第3章 家庭系ごみ排出原単位調査

1 調査の目的と方法

区民1人が1日に排出するごみ・資源の量を調査するため、調査員をごみ集積所に配置し、区民から世帯人数と何日分のごみ・資源かを聞き取り、その重量を測定した。燃やすごみ、燃やさないごみ、プラスチック製容器包装および資源を対象とした。調査対象地域を表3-1に示す。

表3-1 調査対象地域

調査対象地域		クラスター	住居区分		収集
			戸建	集合	
京橋	新川一丁目	1		○	集積所
	新川二丁目	1		○	集積所
日本橋	日本橋人形町二丁目	1	○	○	集積所・戸別
	日本橋蛎殻町一丁目	2	○	○	集積所・戸別
	日本橋浜町二丁目	1	○	○	集積所・戸別
	日本橋浜町三丁目	1	○	○	集積所・戸別
月島	佃一丁目	4	○		集積所
	佃二丁目	4	○		集積所
	月島二丁目	4	○	○	集積所・戸別
	月島三丁目	4	○	○	集積所・戸別
	月島四丁目	4	○	○	集積所・戸別
	勝どき五丁目	4		○	集積所
	勝どき六丁目	4		○	集積所
	晴海三丁目	4		○	集積所

2 調査結果

(1) サンプル数

調査に用いた属性別のサンプル数を表3-2に示す。

表3-2 世帯人数別サンプル数

属性（世帯人数） ごみ・資源の種類	1人 (若年層)	1人 (若年層以外)	2人	3人	4人 以上	合計
燃やすごみ	31	163	220	84	70	568
燃やさないごみ	0	9	19	8	4	40
プラスチック製容器包装	3	41	57	26	19	146
資源	紙類	5	21	42	20	104
	ペットボトル	2	25	41	21	111
	びん	2	9	20	10	56
	缶	3	16	43	13	95
	金属類（調理器具）	0	0	1	0	1
資源合計		12	71	147	64	368

(2) 排出原単位

調査結果に基づいて推計した区民1人が1日に出すごみ・資源の量を表3-3に示す。燃やすごみ315.4g/人日、燃やさないごみ42.1g/人日、プラスチック製容器包装34.7g/人日、資源244.9g/人日である。

表3-3 排出原単位調査結果

属性(世帯人数)		排出原単位 (g/人日) a	人口割合 (%) b	人口割合を乗じた 排出原単位 (g/人日) a×b	合計 (g/人日)
燃やすごみ	1人世帯(若年層)	345.9	7.6	26.3	315.4
	1人世帯(若年層以外)	374.1	21.1	79.1	
	2人世帯	342.3	26.6	90.9	
	3人世帯	262.8	21.9	57.5	
	4人以上世帯	274.9	22.4	61.6	
燃やさないごみ	1人世帯(若年層)	84.4	7.6	6.4	42.1
	1人世帯(若年層以外)	84.4	21.1	17.8	
	2人世帯	28.5	26.6	7.6	
	3人世帯	30.3	21.9	6.6	
	4人以上世帯	16.4	22.4	3.7	
プラスチック製容器包装	1人世帯(若年層)	43.8	7.6	3.3	34.7
	1人世帯(若年層以外)	55.8	21.1	11.8	
	2人世帯	34.0	26.6	9.0	
	3人世帯	22.9	21.9	5.0	
	4人以上世帯	24.6	22.4	5.5	
資源	紙類	1人世帯(若年層)	238.7	7.6	18.2
		1人世帯(若年層以外)	208.0	21.1	44.0
		2人世帯	127.9	26.6	34.0
		3人世帯	81.3	21.9	17.8
		4人以上世帯	44.5	22.4	10.0
	ペットボトル	1人世帯(若年層)	39.8	7.6	3.0
		1人世帯(若年層以外)	35.8	21.1	7.6
		2人世帯	23.3	26.6	6.2
		3人世帯	15.4	21.9	3.4
		4人以上世帯	15.9	22.4	3.6
	びん	1人世帯(若年層)	257.0	7.6	19.6
		1人世帯(若年層以外)	62.8	21.1	13.3
		2人世帯	34.6	26.6	9.2
		3人世帯	35.5	21.9	7.8
		4人以上世帯	37.9	22.4	8.5
	缶	1人世帯(若年層)	25.5	7.6	1.9
		1人世帯(若年層以外)	30.8	21.1	6.5
		2人世帯	20.2	26.6	5.4
		3人世帯	16.6	21.9	3.6
		4人以上世帯	10.5	22.4	2.4
	調理器具	1人世帯(若年層)	29.5	7.6	2.2
		1人世帯(若年層以外)	29.5	21.1	6.2
		2人世帯	29.5	26.6	7.8
		3人世帯	6.5	21.9	1.4
		4人以上世帯	6.5	22.4	1.5
総計					637.0

燃やさないごみ、プラスチック製容器包装および資源は、排出原単位調査の結果と実際の回収量に乖離があるため、燃やすごみの収集実績に基づく排出原単位を補正して用いる。分別区分ごとの実績に基づく排出原単位に、燃やすごみの収集実績に基づく排出原単位に対する調査結果の比を乗じて補正した結果を表3-4に、分別区分別の排出原単位を表3-5に示す。

表3-4 燃やさないごみ、プラスチック製容器包装および資源の排出原単位の補正

分別区分	収集実績に基づく 排出原単位 (g/人日) a	排出原 単位の比 b	補正した 排出原単位 (g/人日) a×b
燃やさないごみ	20.2		13.2
プラスチック製容器包装	9.4		6.1
紙類	51.1		33.3
新聞	7.5		4.9
雑誌・その他	13.1		8.5
段ボール	30.6		19.9
ペットボトル	15.1		9.8
びん	51.0		33.2
生きびん	0.6		0.4
雑びん	50.3		32.7
缶	5.1		3.3
スチール缶	3.1		2.0
アルミ缶	2.0		1.3
調理器具	0.1		0.1
鉄類	0.1		0.1
アルミ類	0.0		0.0

表3-5 分別区分別の排出原単位

分別区分	排出原単位 (g/人日)
燃やすごみ (A)	315.4
燃やさないごみ (B)	13.2
プラスチック製容器包装 (C)	6.1
資源 (D)	
紙類	33.3
新聞	4.9
雑誌・その他	8.5
段ボール	19.9
ペットボトル	9.8
びん	33.2
生きびん	0.4
雑びん	32.7
缶	3.3
スチール缶	2.0
アルミ缶	1.3
調理器具	0.1
鉄類	0.1
アルミ類	0.0
合計 (A+B+C+D)	79.7
	414.3

第4章 家庭系ごみ組成分析調査

1 調査目的と方法

家庭から排出されるごみおよび資源の組成割合を明らかにし、正しく分別している割合や資源の混入状況等を把握するため、調査地域（表4－1）の集積所から収集してきたサンプルの燃やごみ、燃やさないごみ、プラスチック製容器包装および資源を分類表（表4－2）のとおりに資源物、可燃物、不燃物および外袋に区分して組成分析を行った。

組成分析調査と並行して、紙おむつ、未利用食品、小型家電、有害・危険物および水銀含有物について調査した。

表4－1 調査対象地域

調査対象地域		クラスター	住居区分		収集
			戸建	集合	
京橋	新川一丁目	1		○	集積所
	新川二丁目	1		○	集積所
日本橋	日本橋人形町二丁目	1	○	○	集積所・戸別
	日本橋蛎殻町一丁目	2	○	○	集積所・戸別
	日本橋浜町二丁目	1	○	○	集積所・戸別
	日本橋浜町三丁目	1	○	○	集積所・戸別
月島	佃一丁目	4	○		集積所
	佃二丁目	4	○		集積所
	月島二丁目	4	○	○	集積所・戸別
	月島三丁目	4	○	○	集積所・戸別
	月島四丁目	4	○	○	集積所・戸別
	勝どき五丁目	4		○	集積所
	勝どき六丁目	4		○	集積所
	晴海三丁目	4		○	集積所

表4－2 組成分析項目

大分類	中分類	No	小分類	対象品目の例	非対象品目の例	容器包装リサイクル法対象品目
紙類		1	新聞（リサイクル可）	他用途に使っていない新聞紙	新聞に入る広告・チラシ→折込広告	
		2	雑誌・本（リサイクル可）	パンフレット、カタログ（4P以上のもの）		
		3	段ボール（リサイクル可）	断面が段々になっている	ボール紙→その他紙類（リサイクル）	○
		4	紙パック（リサイクル可）	500ml以上の牛乳・ジュースの山型の紙パック	口がプラの酒パック→容器包装紙類（リサイクル不可）	○
		5	OA用紙（リサイクル可）	コピー用紙、OA用紙	シュレッダーはその他紙類（リサイクル不可）	
		6	紙製容器包装（リサイクル可）	（紙だけの）包装紙、紙箱、紙袋、紙容器、500ml未満山型の紙パック	汚れているもの、プラ、アルミのコーティングあり→容器包装紙類（リサイクル不可）	○
		7	その他紙類（リサイクル可）	（きれいな）投げ込みのチラシ、ノート、ボール紙、封筒（窓付含む。）、はがき、名刺サイズ以上のリサイクルできる紙、トイレットペーパーの芯	汚れたもの→その他紙類（リサイクル不可）	
資源物		8	生きびん	一升びん、ビールびん（大中小、スタイニーボトル）		○
		9	雑びん	一升びん以外の酒、ジュース、ジャム、化粧品（透明）のびん	不透明な化粧品 薬のびん等→その他不燃物	○
		10	飲用・食用スチール缶		一斗缶→その他金属	○
		11	飲用・食用アルミ缶		一斗缶→その他金属	○
		12	エアゾール缶※	スプレー缶		
		13	カセットポンベ※	カセットコンロ用ガスボンベ		
		14	調理器具	金属製のなべ、やかん、フライパン		
プラスチック製容器包装		15	ペットボトル（汚れなし）	「PET」表示あり、飲料、醤油	「PET」表示なし、飲料・食用以外→形のあるプラスチック製容器包装。汚れありは可燃物	○
		16	発泡スチロール製食品トレイ（白）（汚れなし）	スーパー等で肉や魚、野菜がのっているトレイで白色のもの	納豆パック→その他形のあるプラスチック容器包装、汚れありは可燃物	○
		17	発泡スチロール製食品トレイ（柄）（汚れなし）	スーパー等で肉や魚、野菜がのっているトレイで柄の入っているもの	汚れありは可燃物	○
		18	レジ袋（汚れなし）	ごみを入れる小袋として使用したもの	汚れありは可燃物	○
		19	チューブ（汚れなし）	調味料、歯磨き粉	汚れありは可燃物	○
		20	レトルト袋（汚れなし）		汚れありは可燃物	○
		21	発泡スチロール（汚れなし）	トロ箱、充てん剤	汚れありは可燃物	○
その他資源物		22	その他形のあるプラスチック製容器包装（汚れなし）	シャンプーや洗剤のボトル、玉子や苺のパック、ヨーグルトやカップ麺、納豆のカップ、キャップ類、発泡スチロール以外の緩衝材、錠剤の包み	汚れありは可燃物	○
		23	フィルム状のプラスチック製容器包装（汚れなし）	菓子袋、ラップ等の形のないもの	汚れありは可燃物	○
		24	布類（リサイクル可）	衣類、タオル、寝具等の形のあるもの	ストッキング、裁断した布、ぬいぐるみ、カーテン、絨毯、毛布、座布団等はその他可燃物	
		25	電池類（一次電池）	筒型		
可燃物		26	蛍光管		電球はその他不燃物	
		27	小型家電類（15cm×26cm以内の品目）	携帯電話、携帯音楽プレイヤー、携帯ゲーム機、デジタルカメラ、ポータブルビデオカメラ、ポータブルカーナビ、電子辞書、卓上計算機、ACアダプター、タブレット端末、ICレコーダー、USBメモリー・メモリーカード	15cm×26cm以内の品目以外は小型家電類（その他）	
		28	直接廃棄	賞味期限切れ、未開封、開封残り		
生ごみ		29	食べ残し	食べ残し		
		30	調理くず	調理の際に出てくる調理くず		
		31	紙製容器包装（リサイクル不可）	カップ麺の紙容器・フタ、紙トレイ、紙カップ、200ml等の四角い紙パック、口がプラの酒パック、アルミ加工された紙パック		△
紙くず		32	その他紙類（リサイクル不可）	カーボン紙、紙くず、ちり紙、カーボン紙、ワックス加工紙、防水加工紙、感熱紙、油紙、金紙、銀紙、ビニールコート紙、名刺サイズ未満の紙、シュレッダージュの紙		

表4－2 組成分析項目（続き）

大分類	中分類	No	小分類	対象品目の例	非対象品目の例	容器包装リサイクル法対象品目	
可燃物	その他可燃物	33	紙おむつ				
		34	木・草類	割り箸、竹串、コルク、庭木・落ち葉・草、生花			
		35	ペットボトル（汚れあり）	「PET」表示あり、飲料、醤油	「PET」表示なし、飲料・食用以外→形のあるプラスチック製容器包装。汚れなしは資源物	△	
		36	発泡スチロール製食品トレイ（白）（汚れあり）	スーパー等で肉や魚、野菜がのっているトレイで白色のもの	納豆パック→その他形のあるプラスチック製容器包装、汚れなしは資源物	△	
		37	発泡スチロール製食品トレイ（柄）（汚れあり）	スーパー等で肉や魚、野菜がのっているトレイで柄の入っているもの	汚れなしは資源物	△	
		38	レジ袋（汚れあり）	ごみを入れる小袋として使用したもの	汚れなしは資源物	△	
		39	チューブ（汚れあり）	調味料、歯磨き粉	汚れなしは資源物	△	
		40	レトルト袋（汚れあり）		汚れなしは資源物	△	
		41	発泡スチロール（汚れあり）	ト口箱、充てん剤	汚れなしは資源物	△	
		42	その他形のあるプラスチック製容器包装（汚れあり）	シャンプーや洗剤のボトル、玉子や苺のパック、ヨーグルトやカップ麺、納豆のカップ、キャップ類、発泡スチロール以外の緩衝材	汚れなしは資源物	△	
		43	フィルム状のプラスチック製容器包装（汚れあり）	菓子袋、ラップ等形のないもの	汚れなしは資源物	△	
		44	製品プラスチック	歯ブラシ、おもちゃ、バケツ、ビデオテープ	金属との複合物→製品プラスチック		
		45	ゴム・皮革類	ゴム製品、革靴、革製カバン等の革製品			
		46	その他可燃物	タバコの吸殻、油を固めたもの、掃除機のごみ、脱脂綿、ガーゼ、包帯、生理用品、ぬいぐるみ、ペットシート			
不燃物	有害・危険物	47	電池類（二次電池）	ボタン型、充電池			
		48	エアゾール缶※	スプレー缶			
		49	カセットポンベ※	カセットコンロ用ガスボンベ			
		50	ライター	使い捨てライター、着火機器			
		51	その他有害・危険物	キャンプ用ポンベ、水銀体温計、医療系廃棄物			
	その他不燃物	52	その他金属	飲用・食用以外の缶、一斗缶、アルミホイル			
		53	陶磁器類	茶碗、急須、お皿	ガラス類はその他不燃物へ		
		54	小型家電類（その他）	小型家電類（15cm×26cm以内の品目）以外の小型家電類	15cm×26cm以内の品目は小型家電類（15cm×26cm以内の品目）へ		
		55	その他不燃物	飲用・食用以外のびん（透明でない化粧品、薬等）、びん以外のガラス、電球、使い捨てカイロ、土石、かさ、ねこ砂、ペットのフン	30センチ以上の粗大ごみ→調査対象外		
		56	プラスチック袋	透明・半透明・不透明袋		○	
外袋		57	レジ袋			○	
		58	紙袋			○	

※ 「エアゾール缶」「カセットポンベ」：燃やすごみ・燃やさないごみ・プラスチック製容器包装として排出されたものは「不燃物」として、資源として排出されたものは「資源物」として分類する。

容器包装リサイクル法対象品目については、○は対象かつ資源化可能、△は対象ではあるが資源化不可能なものを指す。

2 調査結果

(1) サンプル量

サンプル量を表4-3に示す。

表4-3 組成分析調査のサンプル量

ごみ・資源の種類	サンプル量(kg)
燃やすごみ	1,379.1
燃やさないごみ	337.1
プラスチック製容器包装	179.5
資源	366.8

(2) 燃やすごみの組成

【汚れたペットボトル・汚れたプラスチック製容器包装を「その他可燃物」に含めた場合】

燃やすごみの組成は資源物が19.0%、可燃物が78.3%、不燃物が1.7%、外袋が1.0%である。可燃物の内訳は、生ごみが29.3%、紙くずが16.2%、その他可燃物が32.8%である。

燃やすごみのうち、分別が正しくないものが混入している割合は、20.7%である。内訳は資源物が19.0%、不燃物が1.7%である。

【汚れたペットボトル・汚れたプラスチック製容器包装を「資源物」に含めた場合】

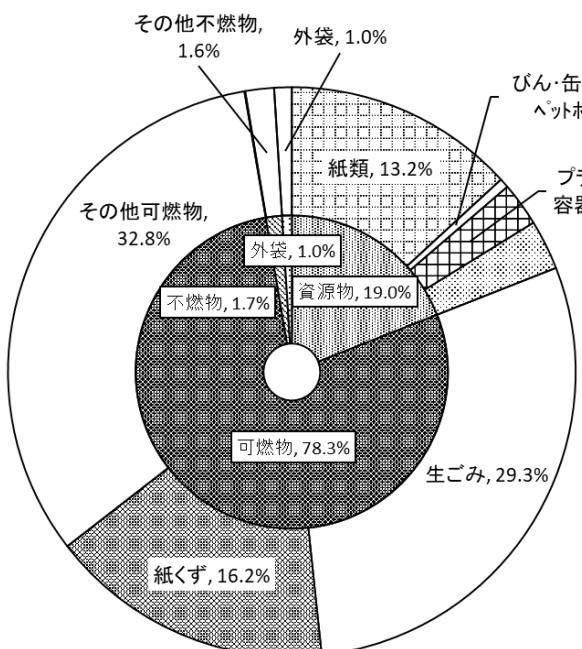
燃やすごみの組成は、資源物が32.3%、可燃物が65.0%、不燃物が1.7%、外袋が1.0%である。可燃物の内訳は、生ごみと紙くずが上記と同じ、その他可燃物が19.5%である。

燃やすごみのうち、分別が正しくないものが混入している割合は、34.0%である。内訳は資源物が32.3%、不燃物が1.7%である。

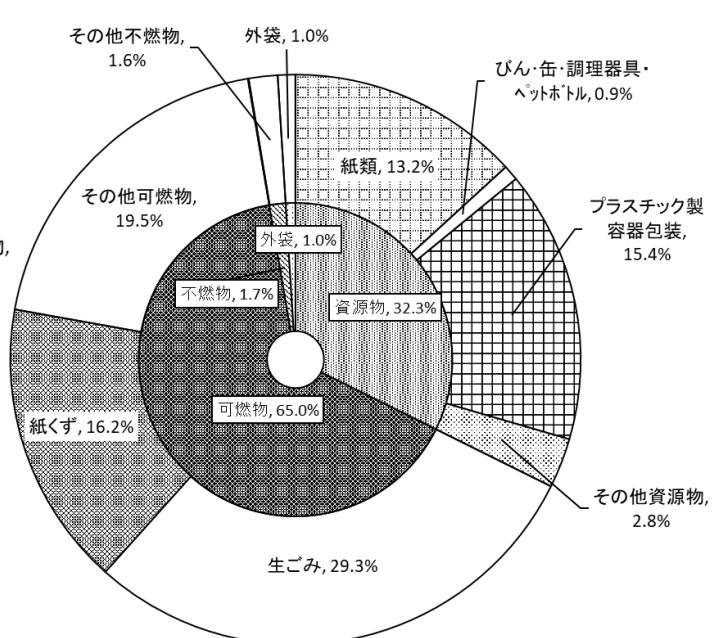
燃やすごみの組成分析結果を図4-1に示す。

図4-1 燃やすごみの組成分析結果

「汚れたペットボトル」および「汚れたプラスチック製容器包装」を「その他可燃物」に含めた場合



「汚れたペットボトル」および「汚れたプラスチック製容器包装」を「資源物」に含めた場合



※「エアゾール缶」および「カセットボンベ」は「不燃物」に含めた。

(3) 燃やさないごみの組成

【汚れたペットボトル・汚れたプラスチック製容器包装を「その他可燃物」に含めた場合】

燃やさないごみの組成は資源物が 25.8%、可燃物が 16.9%、不燃物が 56.2%、外袋が 1.1%である。不燃物の内訳は、有害・危険物が 1.6%、その他不燃物が 54.6%である。

燃やさないごみのうち、分別が正しくないものが混入している割合は 42.7%である。内訳は資源物が 25.8%、可燃物が 16.9%である。

【汚れたペットボトル・汚れたプラスチック製容器包装を「資源物」に含めた場合】

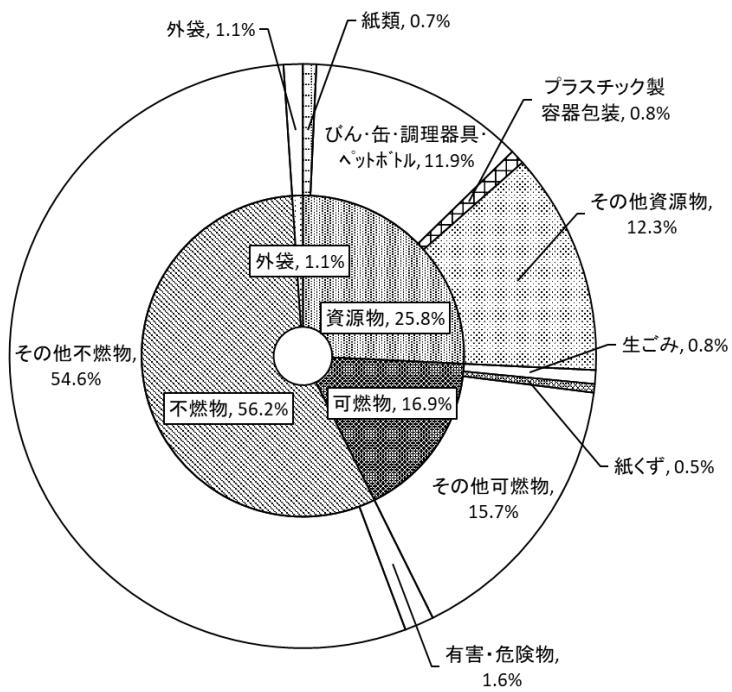
燃やさないごみの組成は資源物が 28.1%、可燃物が 14.6%、不燃物と外袋は上記と同じである。不燃物の内訳も上記と同じである。

燃やさないごみのうち、分別が正しくないものが混入している割合は 42.7%である。内訳は資源物が 28.1%、可燃物が 14.6%である。

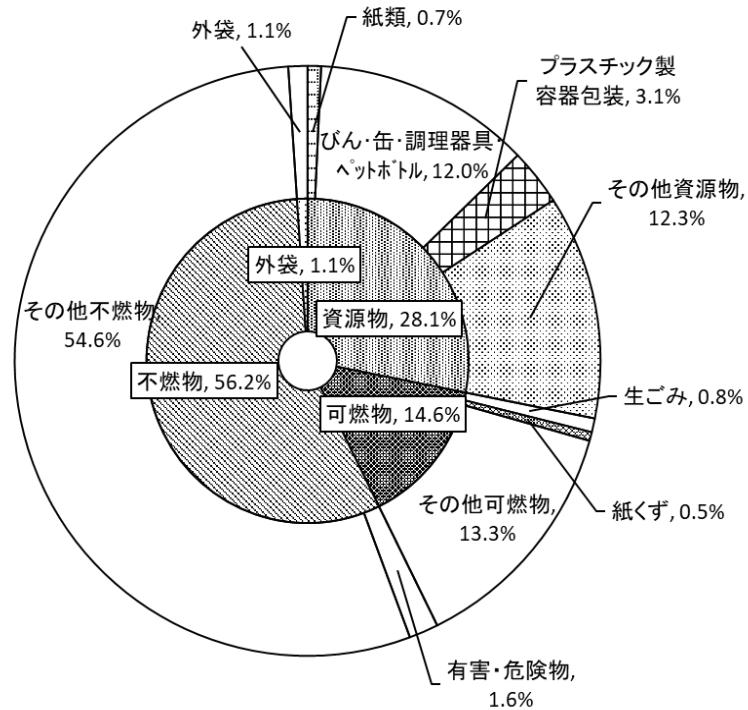
燃やさないごみの組成分析結果を図4-2に示す。

図4-2 燃やさないごみの組成分析結果

「汚れたペットボトル」および「汚れたプラスチック製容器包装」を「その他可燃物」に含めた場合



「汚れたペットボトル」および「汚れたプラスチック製容器包装」を「資源物」に含めた場合



※「エアゾール缶」および「カセットボンベ」は「不燃物」に含めた。

(4) プラスチック製容器包装の組成

【汚れたペットボトル・汚れたプラスチック製容器包装を「その他可燃物」に含めた場合】

プラスチック製容器包装の組成はプラスチック製容器包装が45.0%、プラスチック製容器包装以外の資源物が2.0%、可燃物が48.9%、不燃物が0.8%、外袋が3.2%である。

プラスチック製容器包装のうち、分別が正しくないものが混入している割合は、51.7%である。内訳は可燃物が48.9%、プラスチック製容器包装以外の資源物が2.0%、不燃物が0.8%である。

【汚れたペットボトル・汚れたプラスチック製容器包装を「資源物」に含めた場合】

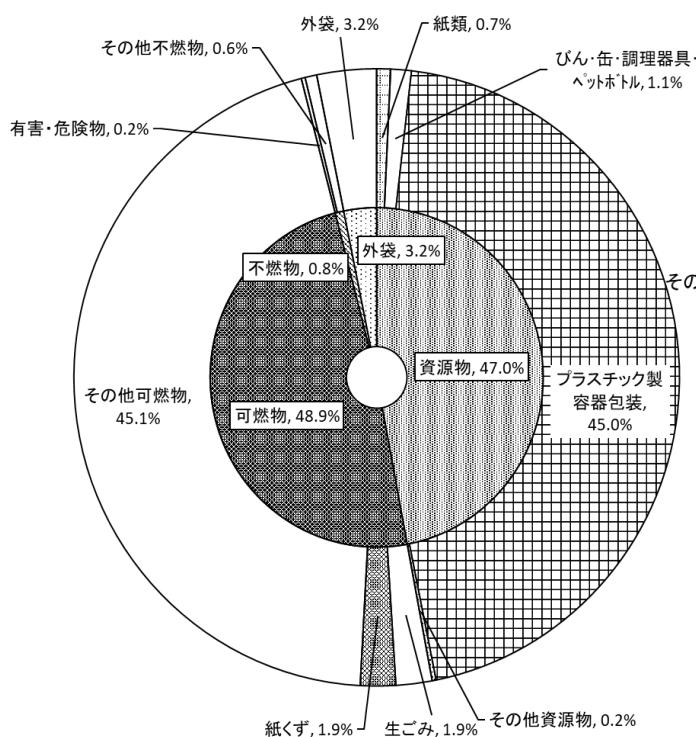
プラスチック製容器包装の組成割合はプラスチック製容器包装が80.2%、プラスチック製容器包装以外の資源物が2.5%、可燃物が13.2%、不燃物と外袋は上記と同じである。

プラスチック製容器包装のうち、分別が正しくないものが混入している割合は、16.5%である。内訳は可燃物が13.2%、プラスチック製容器包装以外の資源物が2.5%、不燃物が0.8%である。

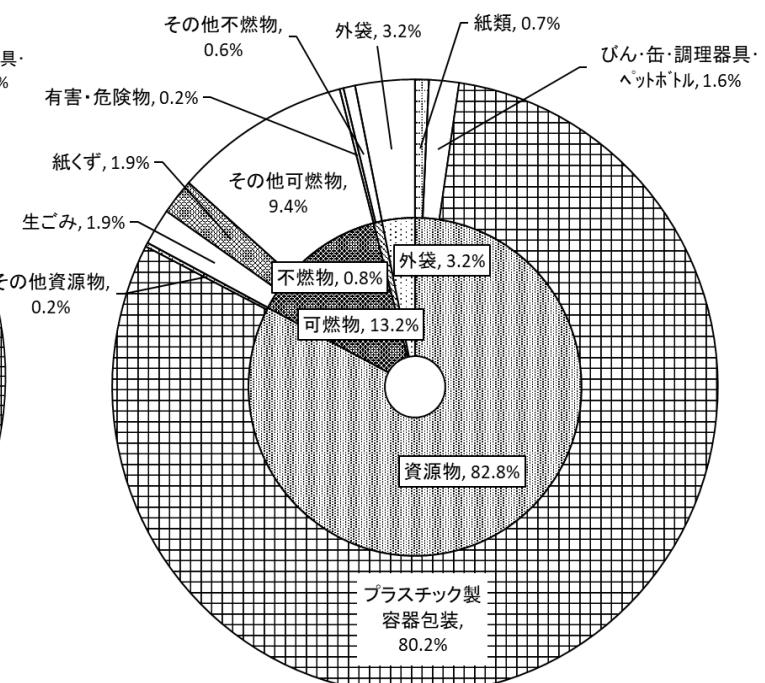
プラスチック製容器包装の組成分析結果を図4-3に示す。

図4-3 プラスチック製容器包装の組成分析結果

「汚れたペットボトル」および「汚れたプラスチック製容器包装」を「その他可燃物」に含めた場合



「汚れたペットボトル」および「汚れたプラスチック製容器包装」を「資源物」に含めた場合



※「エアゾール缶」および「カセットボンベ」は「不燃物」に含めた。

(5) 資源の組成

【汚れたペットボトル・汚れたプラスチック製容器包装を「その他可燃物」に含めた場合】

資源の組成は、資源物が95.6%、可燃物が3.0%、不燃物が0.4%、外袋が1.0%である。資源の内訳は、びん・缶・ペットボトルが64.6%、紙類が30.6%、プラスチック製容器包装が0.5%である。

資源のうち、分別が正しくないものが混入している割合は、3.4%である。内訳は可燃物が3.0%、不燃物が0.4%である。

【汚れたペットボトル・汚れたプラスチック製容器包装を「資源物」に含めた場合】

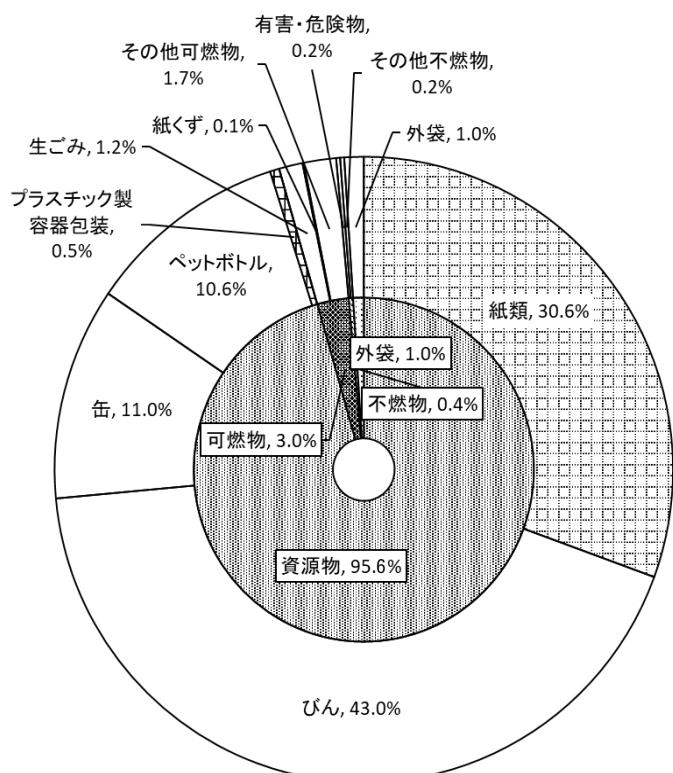
資源の組成は、資源物が97.0%、可燃物が1.6%、不燃物と外袋は上記と同じである。資源の内訳は、びん・缶・ペットボトルが65.4%、紙類が30.6%、プラスチック製容器包装が1.0%である。

資源のうち、分別が正しくないものが混入している割合は、2.0%である。内訳は可燃物が1.6%、不燃物が0.4%である。

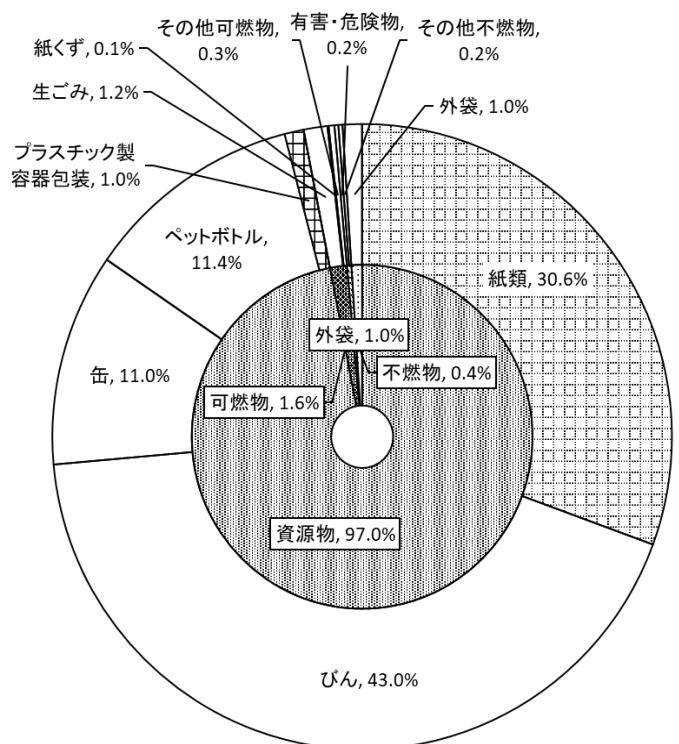
資源の組成分析結果を図4-4に示す。

図4-4 資源の組成分析結果

「汚れたペットボトル」および「汚れたプラスチック製容器包装」を「その他可燃物」に含めた場合



「汚れたペットボトル」および「汚れたプラスチック製容器包装」を「資源物」に含めた場合



※「エアゾール缶」および「カセットボンベ」は「不燃物」に含めた。

(6) 紙おむつ

ごみ組成調査のために回収したサンプルに含まれる紙おむつの個数および重量を調査した。調査結果を表4-4に示す。

燃やすごみでは441個の紙おむつが排出され、重量では61.3kgである。プラスチック製容器包装では1個の紙おむつが排出され、重量では0.2kgである。

なお、燃やさないごみおよび資源に紙おむつは排出されていなかった。

表4-4 紙おむつの排出状況

ごみ・資源の種類	サンプル量 (kg)	紙おむつ		
		重量(kg)	個数	割合(%)
燃やすごみ	1379.1	61.3	441	4.4
燃やさないごみ	337.1	-	0	-
プラスチック製容器包装	179.5	0.2	1	0.2
資源	366.8	-	0	-

(7) 未利用食品

ごみ組成調査のために回収した燃やすごみのサンプルに含まれる未利用食品の個数、品目、重量、賞味期限、内容物の残存量等を調査した。調査結果を表4-5~8に示す。

燃やすごみでは、4.5%の未利用食品が含まれていた。これは、生ごみ全体の15.3%を占める。

表4-5 未利用食品の排出状況

	重量(kg)	割合(%)
燃やすごみサンプル全体	1379.1	100.0
生ごみ（全体）	403.8	29.3
生ごみ（未利用食品）	61.7	4.5
生ごみ中の未利用食の割合	-	15.3

表4－6 未利用食品の種類別の排出状況

未利用食品の種類	個数	割合(%)
野菜・果物・農産加工品	118	21.0
肉類	12	2.1
魚介類・水産加工品	16	2.8
水産物その他(海藻類)	7	1.2
主食類(米・パン・麺等)	25	4.4
粉類(小麦粉・澱粉・そば粉等)・粉末加工食品	9	1.6
雑穀類	5	0.9
豆類・豆類加工品等	35	6.2
調理食品・惣菜類	25	4.4
卵・卵加工品	10	1.8
乳製品(飲料以外)	7	1.2
菓子類	112	19.9
飲料(液体)	5	0.9
飲料(粉末・茶葉等)	21	3.7
レトルト食品	11	2.0
調味料類	143	25.4
その他未利用食品(常備菜・サプリメント等)	2	0.4
合計	563	100.0

表4－7 未利用食品の残存量別の排出状況

残存量(残存率)	個数	割合(%)
50%未満	63	11.2
50%以上～100%未満	79	14.0
100%	421	74.8
合計	563	100.0

表4－8 未利用食品の賞味期限・消費期限表示別の排出状況

表示区分	個数	割合(%)
賞味期限表示	期限後	148
	期限前	73
消費期限表示	期限後	52
	期限前	5
日付のみ表示	期限後	5
	期限前	7
表示なし	273	48.5
合計	563	100.0

(8) 小型家電

ごみ組成調査のために回収したサンプルに含まれる小型家電の重量を調査した。拠点回収の対象である小型家電（15cm×26cm以内の品目）については、品目、個数および重量について調査した。調査結果を表4-9に示す。

小型家電が最も多く含まれていたのは、燃やさないごみで18.2%である。内訳は小型家電（15cm×26cm以内の品目）が9.6%、小型家電（その他）が8.5%である。燃やすごみでは0.2%、プラスチック製容器包装では0.2%の小型家電が含まれていた。

なお、資源に小型家電は含まれていなかった。

表4-9 小型家電の排出状況

ごみ・資源 の種類	サンプル量 (kg)	小型家電 (15cm×26cm 以内 の品目)		小型家電 (その他)		小型家電 (合計)	
		重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)
燃やすごみ	1379.1	2.6	0.2	0.0	0.0	2.6	0.2
燃やさないごみ	337.1	32.4	9.6	28.8	8.5	61.2	18.2
プラスチック製 容器包装	179.5	0.1	0.1	0.3	0.2	0.4	0.2
資源	366.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(9) 有害・危険物

ごみ組成調査のために回収したサンプルのうち、「有害・危険物」の種類、個数、重量および内容物の残存率等を調査した。調査結果を表4-10～13に示す。

サンプルに含まれていた87個の有害・危険物のうち、エアゾール缶が40個と最も多く、次いで、ライターが20個、乾電池が11個である。

使い切って排出されている割合は、それぞれ、ライターでは70%、エアゾール缶では78.9%、カセットボンベでは100%である。

表4-10 有害・危険物の排出状況

組成分類 ごみ・ 資源の種類	サンプル量 (kg)	乾電池 (二次電池)		エアゾール缶		カセット ボンベ		ライター		他の 有害・危険物		有害・危険物 (合計)	
		重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)	重量 (kg)	割合 (%)
燃やすごみ	1,379.1	0.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.6	0.0
燃やさない ごみ	337.1	0.2	0.1	4.3	1.3	0.3	0.1	0.6	0.2	0.0	0.0	5.5	1.6
プラスチック製 容器包装	179.5	0.1	0.1	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2
資源	366.8	0.5	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.8	0.2

表4-11 有害・危険物の種類別の個数

組成分類 ごみ・ 資源の種類	乾電池 (二次電池)	エアゾール缶	カセット ボンベ	ライター	他の 有害・危険物		有害・危険物 (合計)	
					個数	割合(%)	個数	割合(%)
燃やすごみ	3	3	0	0	1	7		
燃やさないごみ	7	32	2	19	12	72		
プラスチック製容器包装	1	2	0	1	1	5		
資源	0	3	0	0	0	3		
合計	11	40	2	20	14	87		

表4-12 ライター、エアゾール缶およびカセットボンベの残存率

組成分類	残存率	有害・危険物(合計)								合計
		0%	5～15%	20～30%	35～50%	55～70%	75～95%	100%	不明	
ライター	個数	14	6	0	0	0	0	0	0	20
	割合(%)	70.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
エアゾール缶	個数	30	1	5	0	0	1	1	0	38
	割合(%)	78.9	2.6	13.2	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	100.0
カセットボンベ	個数	2	0	0	0	0	0	0	0	2
	割合(%)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

表4-13 エアゾール缶およびカセットボンベの穴あけの有無

組成分類	穴あき有無		合計
	穴開き有	穴開き無	
エアゾール缶	個数	0	40
	割合(%)	0.0	100.0
カセットボンベ	個数	0	2
	割合(%)	0.0	100.0

(10) 水銀含有物

水銀含有物は燃やさないごみのみから排出され、蛍光管と水銀体温計が排出された。

調査結果を表4-14および表4-15に示す。

表4-14 水銀含有物の排出状況

ごみ・資源の種類	サンプル量 (kg)	水銀(合計)	
		重量(kg)	割合(%)
燃やすごみ	1,379.1	0.0	0.0
燃やさないごみ	337.1	1.2	0.4
プラスチック製容器包装	179.5	0.0	0.0
資源	366.8	0.0	0.0

表4-15 蛍光管の種類ごとの個数

直管	丸管	電球型	合計
9本	1本	0本	10本
90%	10%	0%	100%

第5章 区民アンケート調査

1 調査概要

(1) 調査対象

中央区の住民基本台帳から無作為抽出した 2,000 世帯を対象とした。

(2) 回収状況

発送した 2,000 票のうち、562 票を回収した。宛先不明や転出等で返送された 12 票を除く 1,988 票に対し、有効回収率は 28.3%である。

(3) 属性

回答者の年齢、性別、世帯人数、居住地域等を表 5-1～4 に示す。

表 5-1 年齢

項目名	回答数	割合(%)
30 歳未満	24	4.3
30 代	66	11.7
40 代	115	20.5
50 代	162	28.8
60 歳以上	187	33.3
無回答	8	1.4
全体	562	100.0

表 5-2 性別

項目名	回答数	割合(%)
男性	241	42.9
女性	306	54.4
無回答	15	2.7
全体	562	100.0

表 5-3 世帯人数

項目名	回答数	割合(%)
1 人	121	21.5
2 人	202	35.9
3 人	116	20.6
4 人	82	14.6
5 人	28	5.0
6 人以上	4	0.7
無回答	9	1.6
全体	562	100.0

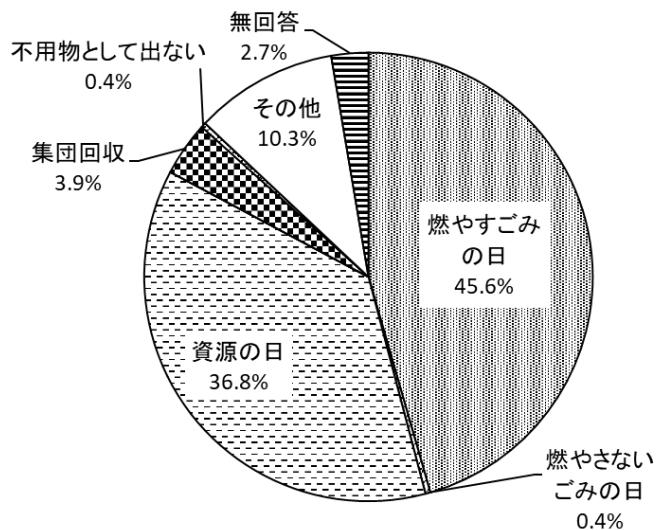
表 5-4 住居形態

項目名	回答数	割合(%)
一戸建て	53	9.4
アパート・管理人のいない団地・マンション	115	20.5
管理人のいる団地・マンション	378	67.3
その他	9	1.6
無回答	7	1.2
全体	562	100.0

2 調査結果

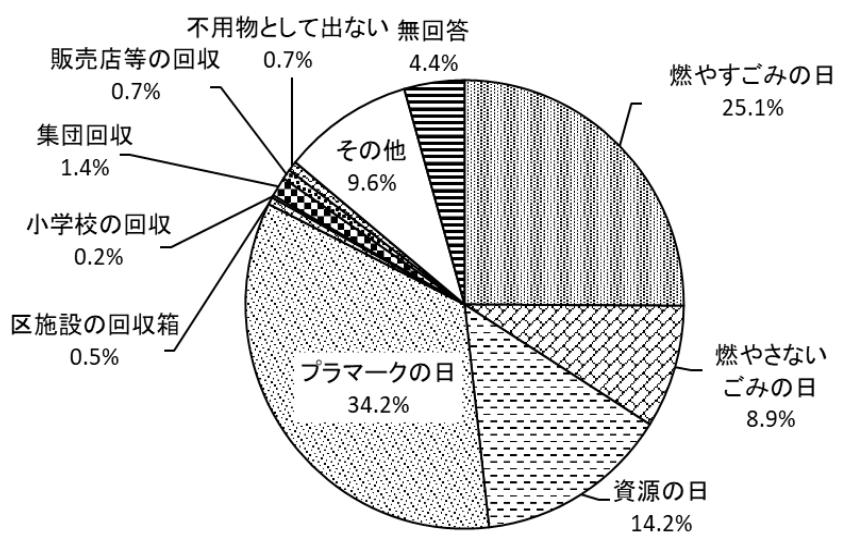
(1) 雑紙（菓子箱・包装紙等）の処分方法（単一回答）

「燃やすごみの日」が 45.6% と最も多く、次いで「資源の日」が 36.8%、「集団回収」が 3.9% である。「不用物として出ない」が 0.4%、「その他」は 10.3% となっている。



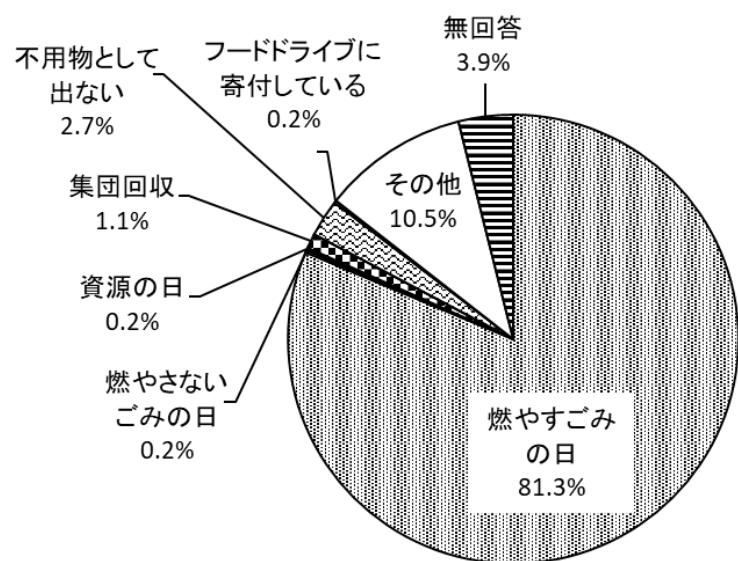
(2) プラスチック製容器包装の処分方法（単一回答）

「プラマークの日」が 34.2% と最も多く、次いで「燃やすごみの日」が 25.1%、「資源の日」が 14.2% である。「不用物として出ない」が 0.7%、「その他」は 9.6% となっている。



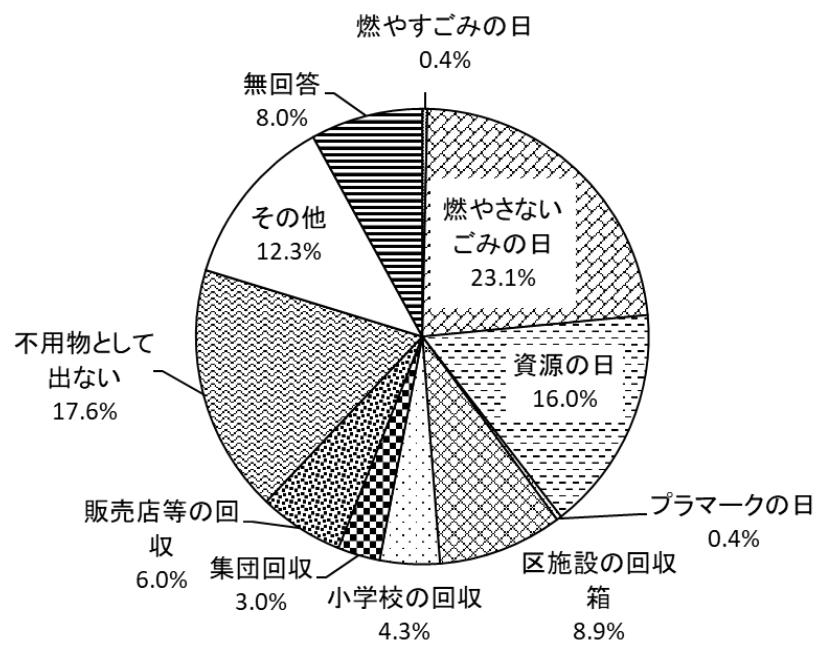
(3) 生ごみの処分方法（単一回答）

「燃やさごみの日」が81.3%と最も多く、次いで「集団回収」が1.1%である。「不用物として出ない」が2.7%、「その他」は10.5%となっている。



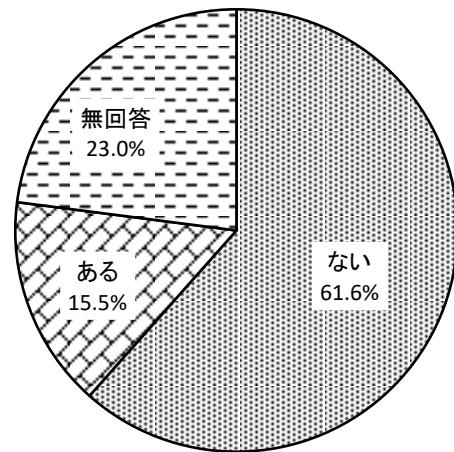
(4) 充電式電池の処分方法（単一回答）

「燃やさないごみの日」が23.1%と最も多く、次いで「資源の日」が16.0%、「区施設の回収箱」が8.9%である。「不用物として出ない」が17.6%、「その他」は12.3%となっている。

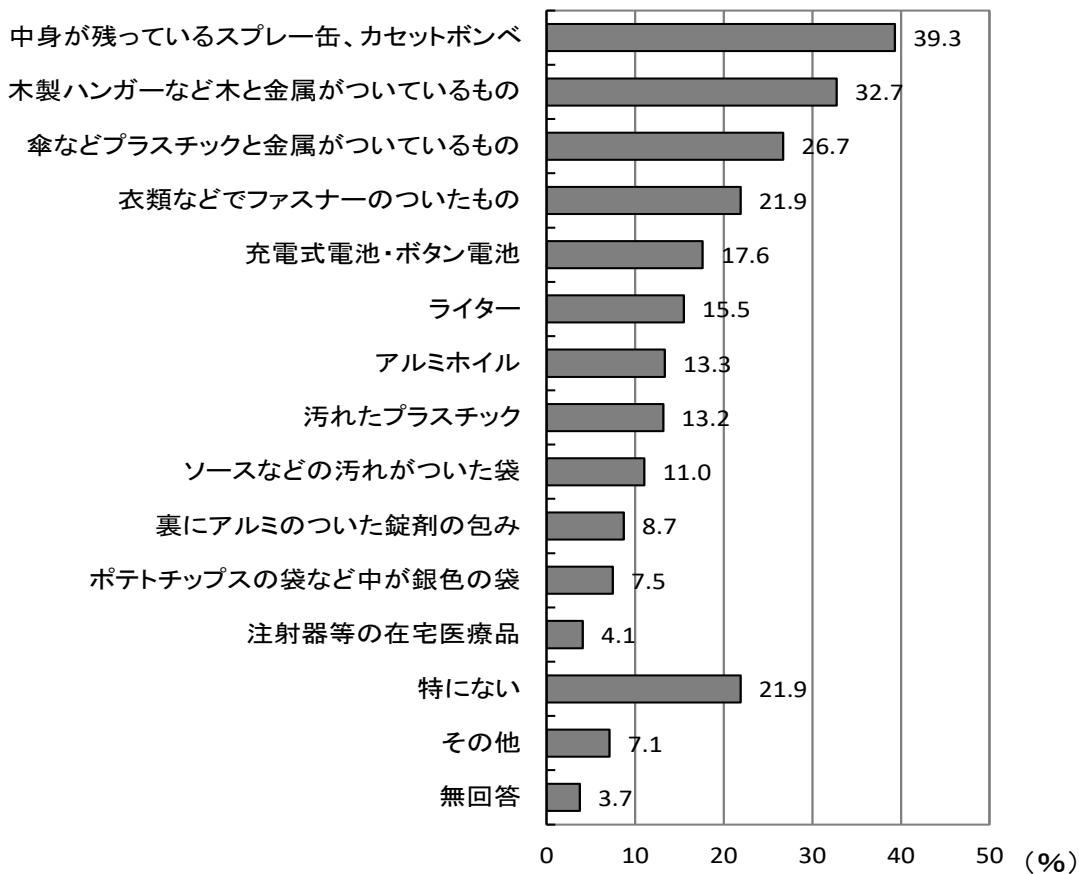


(5) 新たに資源として拠点回収で収集した方が良いと思うもの（単一回答）

「ない」が61.6%と6割以上を占めた。「ある」と回答した人のうち、新たに拠点回収で収集した方が良いと具体的に記載のあった主なものは、衣類（16件）、電池（15件）、本（6件）、プリンターカートリッジ（5件）であった。

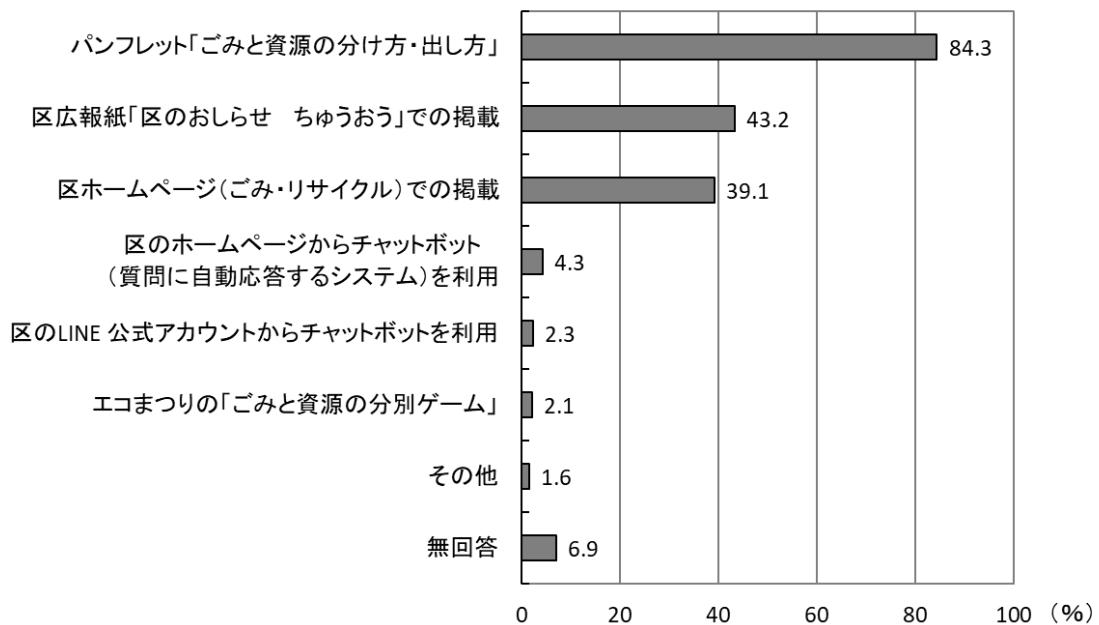


(6) 分別に困っているもの（複数回答）



「中身が残っているスプレー缶、ガスポンベ」が39.3%と最も多く、次いで「木製ハンガーなど木と金属がついているもの」が32.7%、「傘などプラスチックと金属がついているもの」が26.7%となっている。

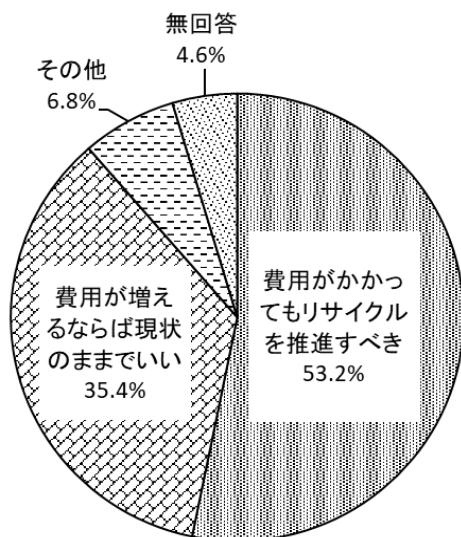
(7) 区の広報の認知（複数回答）



「パンフレット『ごみと資源の分け方・出し方』」が 84.3% と最も多く、次いで「区広報紙『区のおしらせ ちゅうおう』での掲載」が 43.2%、「区ホームページ(ごみ・リサイクル)での掲載」が 39.1% となっている。

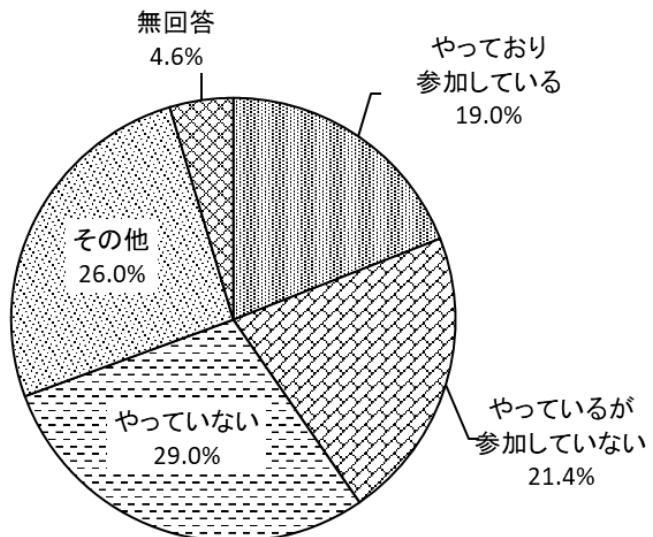
(8) リサイクルの推進と費用のあり方について（単一回答）

「費用がかかってもリサイクルを推進すべき」が 53.2% と最も多く、次いで「費用が増えるならば現状のままでいい」が 35.4% となっている。



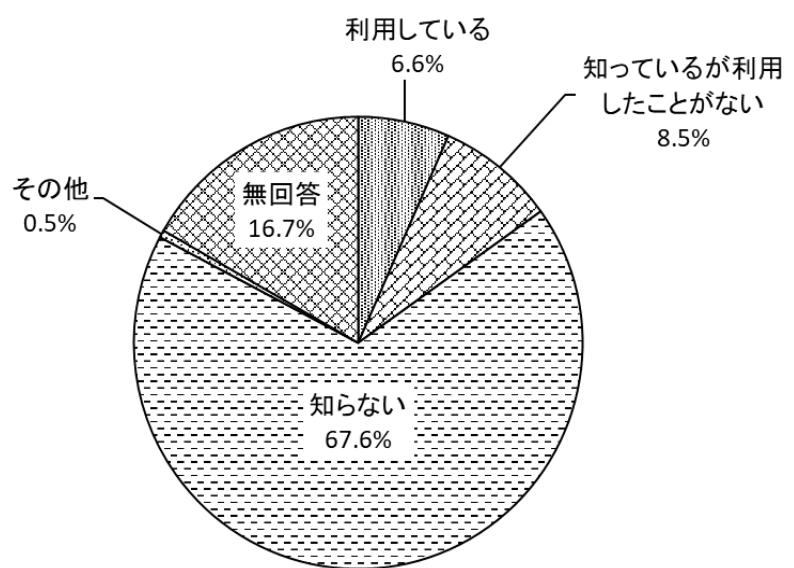
(9) お住まいの町会や自治会等での集団回収について（単一回答）

「やっていない」が29.0%と最も多く、次いで「やっているが参加していない」が21.4%、「やっており参加している」が19.0%となっている。



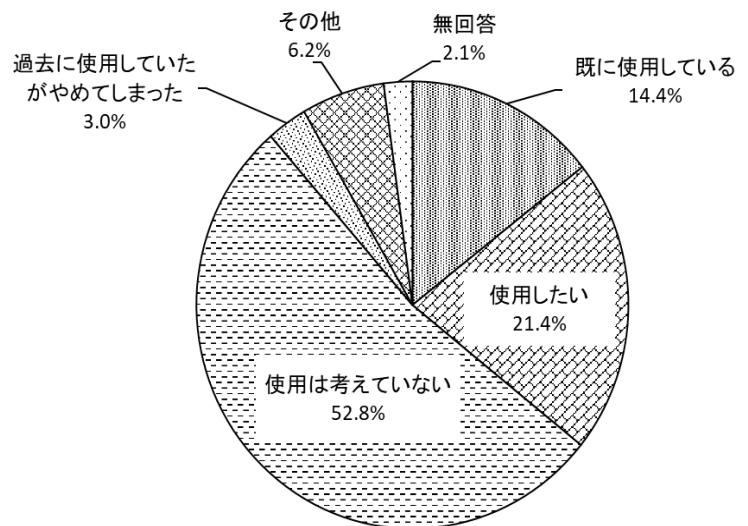
(10) チャットボットの認知（単一回答）

「知らない」が67.6%と最も多く、次いで「知っているが利用したことがない」が8.5%、「利用している」が6.6%となっている。



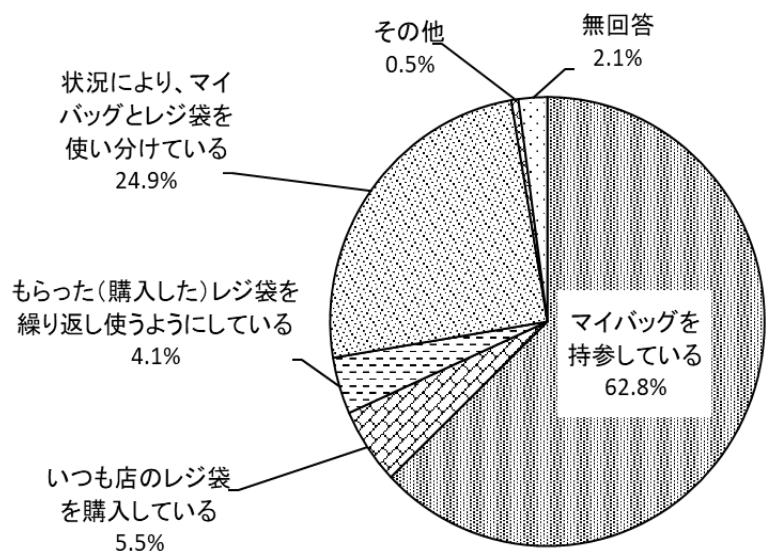
(11) 生ごみ処理機の使用について（単一回答）

「使用は考えていない」が52.8%と最も多く、次いで「生ごみ処理機を使用したい」が21.4%、「既に使用している」が14.4%となっている。

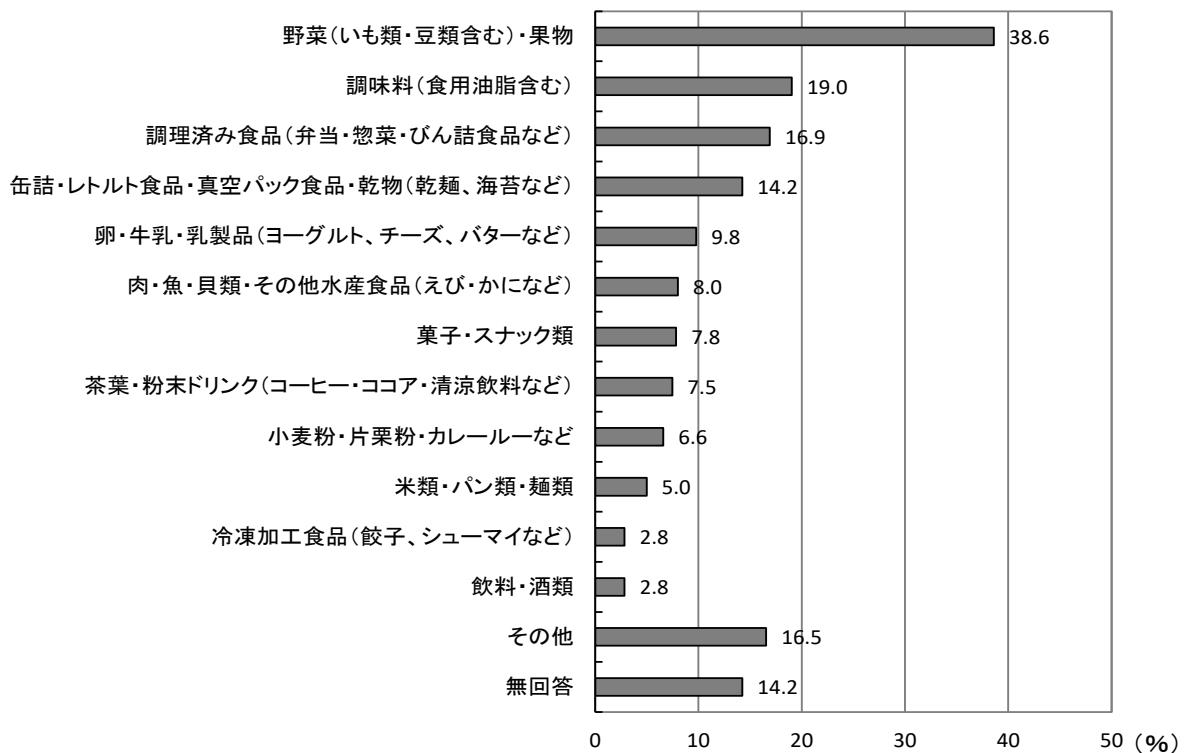


(12) 買い物の際のマイバッグやレジ袋について（単一回答）

「マイバッグを持参している」が62.8%と最も多く、次いで「状況により、マイバッグとレジ袋を使い分けている」が24.9%、「いつも店のレジ袋を購入している」が5.5%となっている。

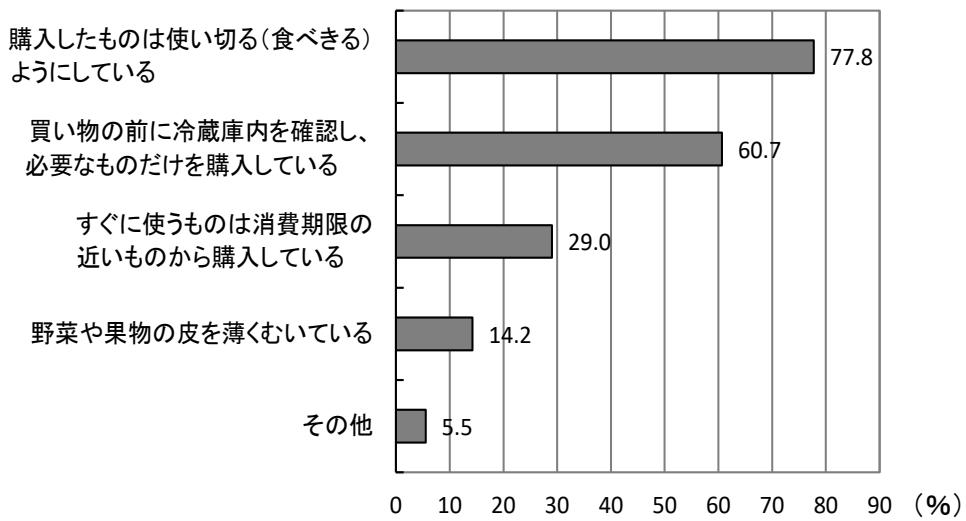


(13) 家庭で発生する食品ロス（複数回答）



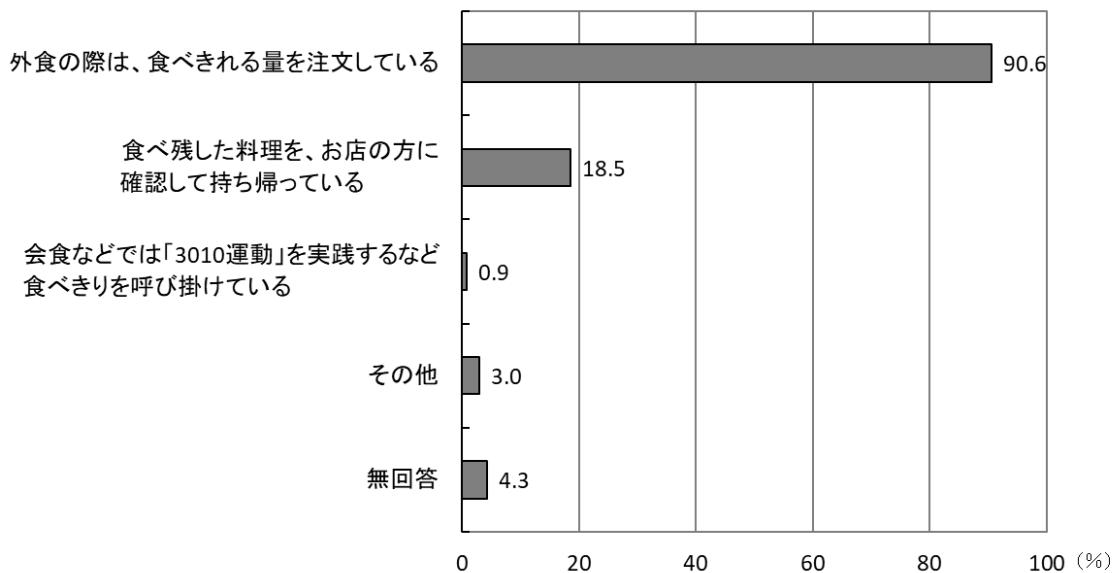
「野菜 (いも類・豆類含む)・果物」が 38.6% と最も多く、次いで「調味料 (食用油脂含む)」が 19.0%、「調理済み食品 (弁当・惣菜・びん詰食品など)」が 16.9% となっている。

(14) 食品ロスの削減について取り組んでいること【家庭】(複数回答)



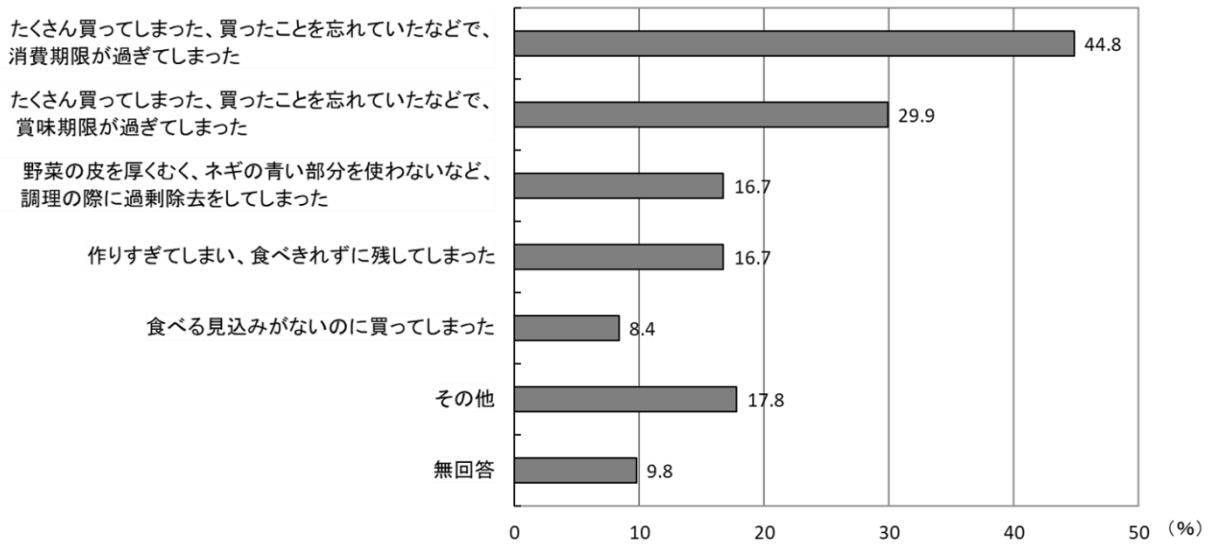
「購入したものは使い切る (食べきる) ようにしている」が 77.8% と最も多く、次いで「買い物の前に冷蔵庫内を確認し、必要なものだけを購入している」が 60.7%、「すぐに使うものは消費期限の近いものから購入している」が 29.0% となっている。

(14) 食品ロスの削減について取り組んでいること【外食時】(複数回答)



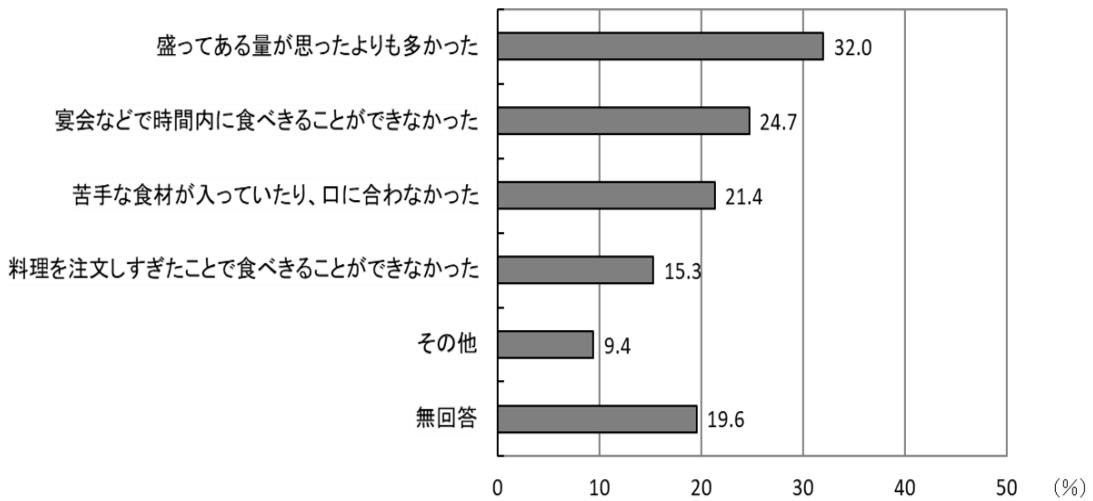
「外食の際は、食べきれる量を注文している」が 90.6% と最も多く、次いで「食べ残した料理をお店の方に確認して持ち帰っている」が 18.5%、「会食などでは「3010 運動」を実践するなど、食べきりを呼び掛けている」が 0.9% となっている。

(15) 食品ロスが発生してしまう理由【家庭】(複数回答)



「たくさん買ってしまった、買ったことを忘れていたなどで、消費期限が過ぎてしまった」が 44.8% と最も多く、次いで「たくさん買ってしまった、買ったことを忘れていたなどで、賞味期限が過ぎてしまった」が 29.9%、「野菜の皮を厚くむく、ネギの青い部分を使わないなど、調理の際に過剰除去をしてしまった」「作りすぎてしまい、食べきれずに残してしまった」がそれぞれ 16.7% となっている。

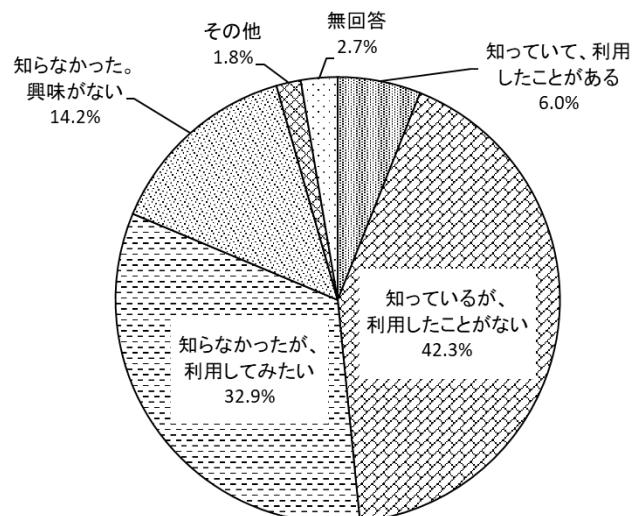
(15) 食品ロスが発生してしまう理由【外食時】(複数回答)



「盛ってある量が思ったよりも多かった」が 32.0% と最も多く、次いで「宴会などで時間内に食べきことができなかつた」が 24.7%、「苦手な食材が入っていたり、口に合わなかつた」が 21.4% となっている。

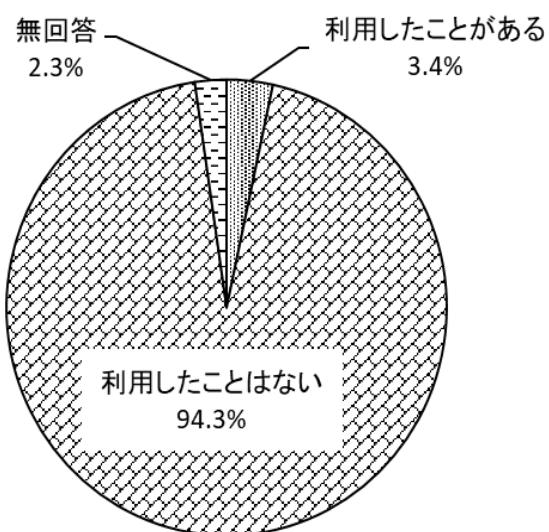
(16) フードドライブの認知 (単一回答)

「知っているが、利用したことがない」が 42.3% と最も多く、次いで「知らなかつたが、利用してみたい」が 32.9%、「知らなかつた。興味がない」が 14.2% となっている。



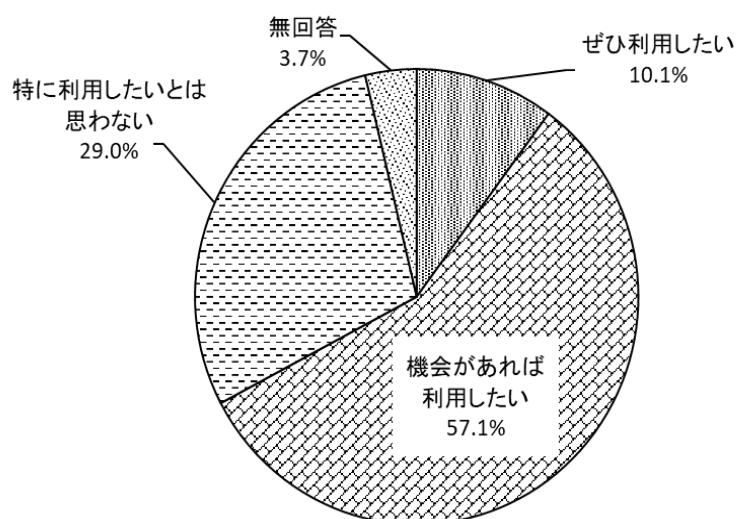
(17) フードシェアリングサービスの利用について（単一回答）

「利用したことはない」が 94.3% となり、9割以上を占めた。「利用したことがある」は 3.4% となっている。



(18) フードシェアリングサービスの今後の利用について（単一回答）

「機会があれば利用したい」が 57.1% と最も多く、次いで「特に利用したいとは思わない」が 29.0%、「ぜひ利用したい」が 10.1% となっている。



第6章 事業所アンケート調査

1 調査概要

(1) 調査対象

中央区内に所在する事業所から無作為抽出した 5,000 事業所を対象とした。

(2) 回収状況

発送した 5,000 票のうち、1,279 票を回収した。宛先不明や事業廃止等で返送された 201 票を除く 4,799 票に対し、有効回収率は 26.7% である。

(3) 属性

回答事業所の業種および従業員数を、表 6-1 および表 6-2 に示す。

表 6-1 業種

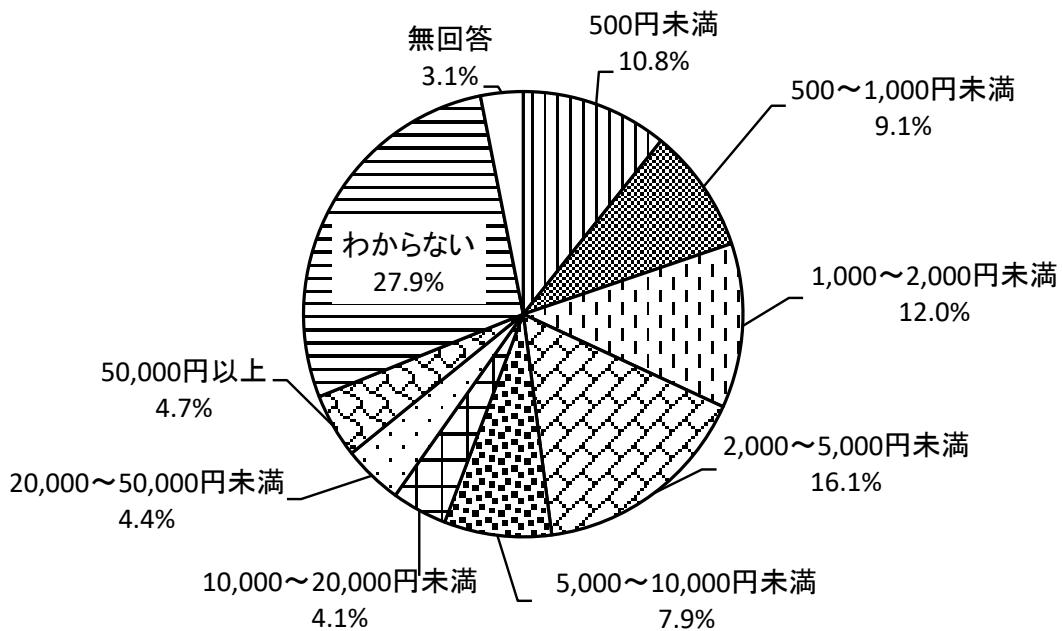
業種	回答数	割合 (%)
建設業	86	6.7
製造業	139	10.9
運輸業	23	1.8
卸売業	185	14.5
小売業	82	6.4
飲食業	78	6.1
金融・保険・不動産業	26	2.0
その他	640	50.0
無回答	20	1.6
全体	1,279	100.0

表 6-2 従業員数

従業員数	回答数	割合 (%)
1～4人	473	37.0
5～9人	330	25.8
10～29人	327	25.6
30人以上	126	9.9
無回答	23	1.8
全体	1,279	100.0

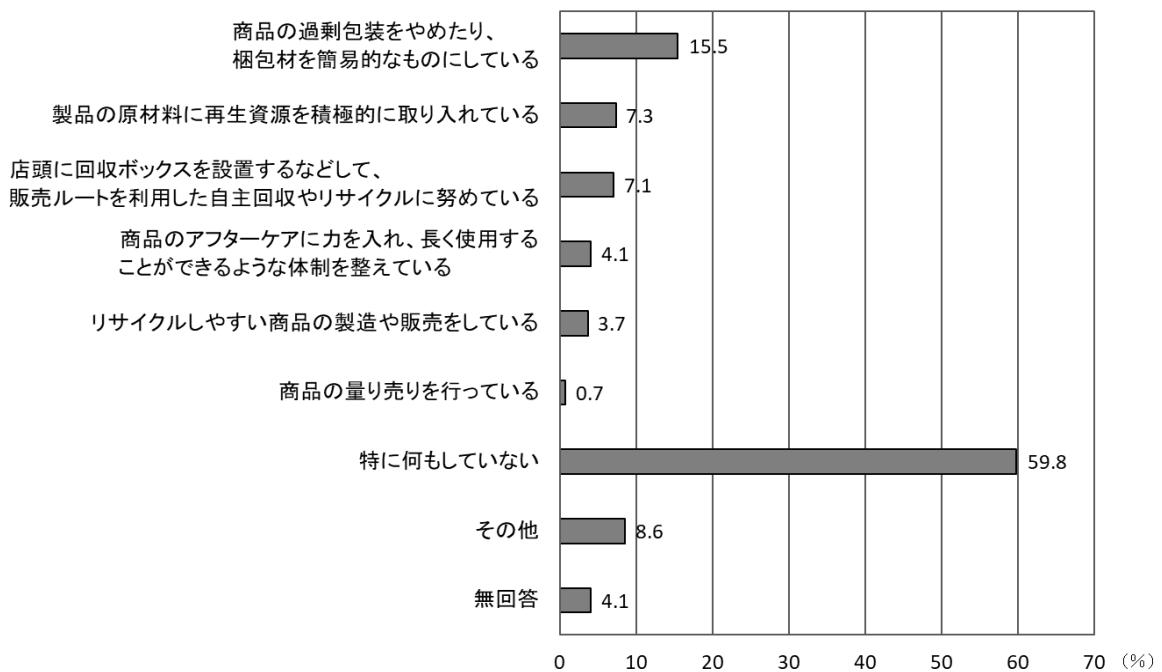
2 調査結果

(1) 1か月当たりのごみおよび資源の処理費用（単一回答）



「2,000~5,000円未満」が16.1%と最も多く、次いで「1,000~2,000円未満」が12.0%、「500円未満」が10.8%である。「わからない」は27.9%となっている。

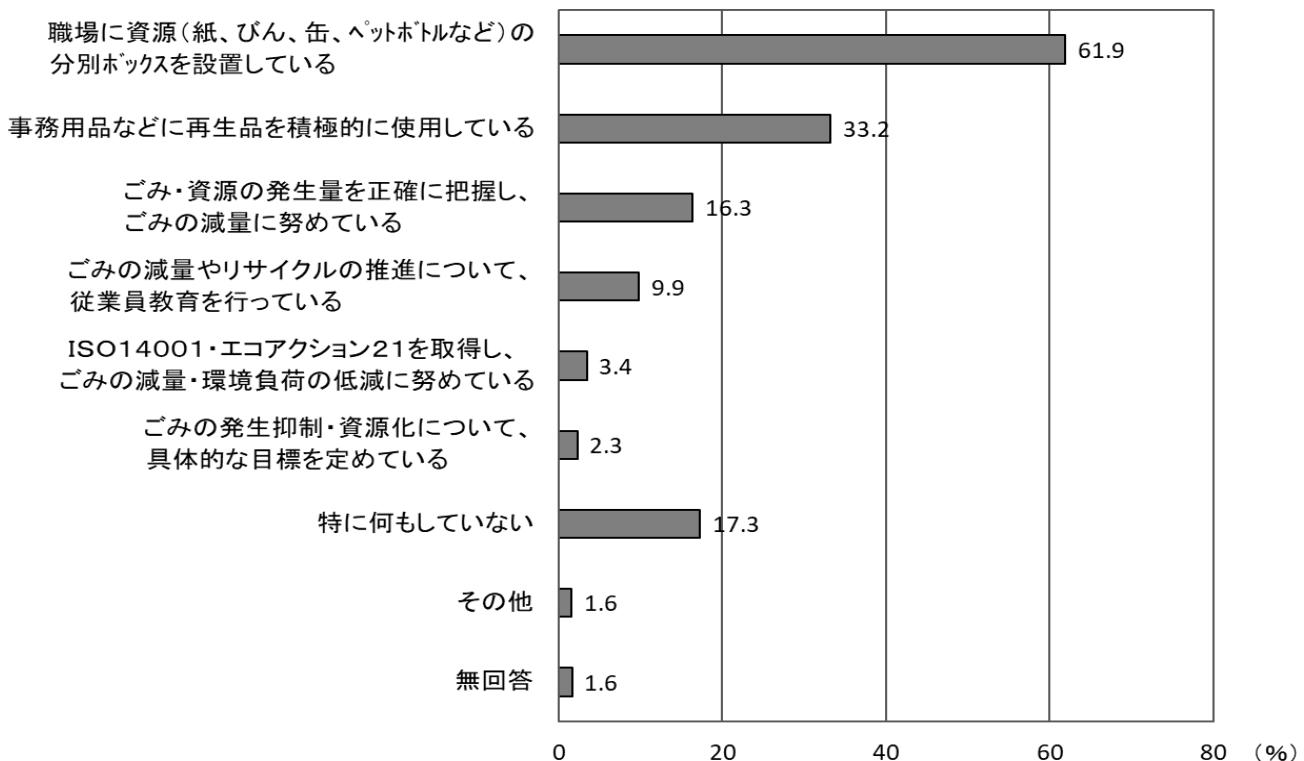
(2) 顧客に対して行っているごみ減量およびリサイクル推進への取組（複数回答）



「商品の過剰包装をやめたり、梱包材を簡易的なものにしている」が15.5%と最も多く、次いで「製品の原材料に再生資源を積極的に取り入れている」が7.3%である。「特に何もしていない」が59.8%、「その他」が8.6%となっている。

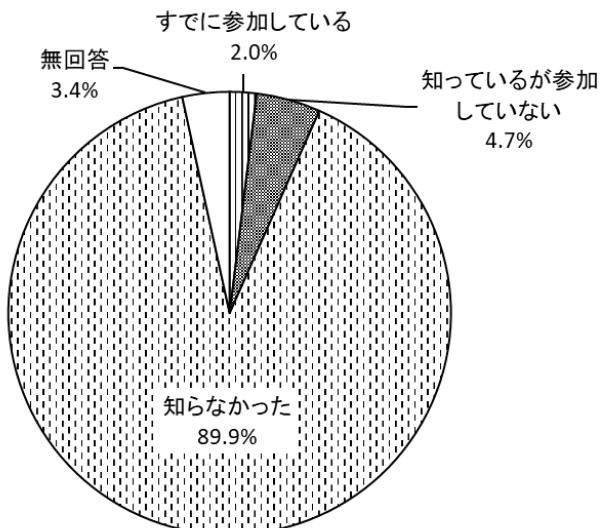
(3) 事業所で行っているごみ減量およびリサイクル推進への取組（複数回答）

「職場に資源（紙、びん、缶、ペットボトルなど）の分別ボックスを設置している」が 61.9%で最も多く、次いで「事務用品などに再生品を積極的に使用している」が 33.2%、「ごみ・資源の発生量を正確に把握し、ごみの減量に努めている」が 16.3%である。「特に何もしていない」が 17.3%、「その他」が 1.6%となっている。



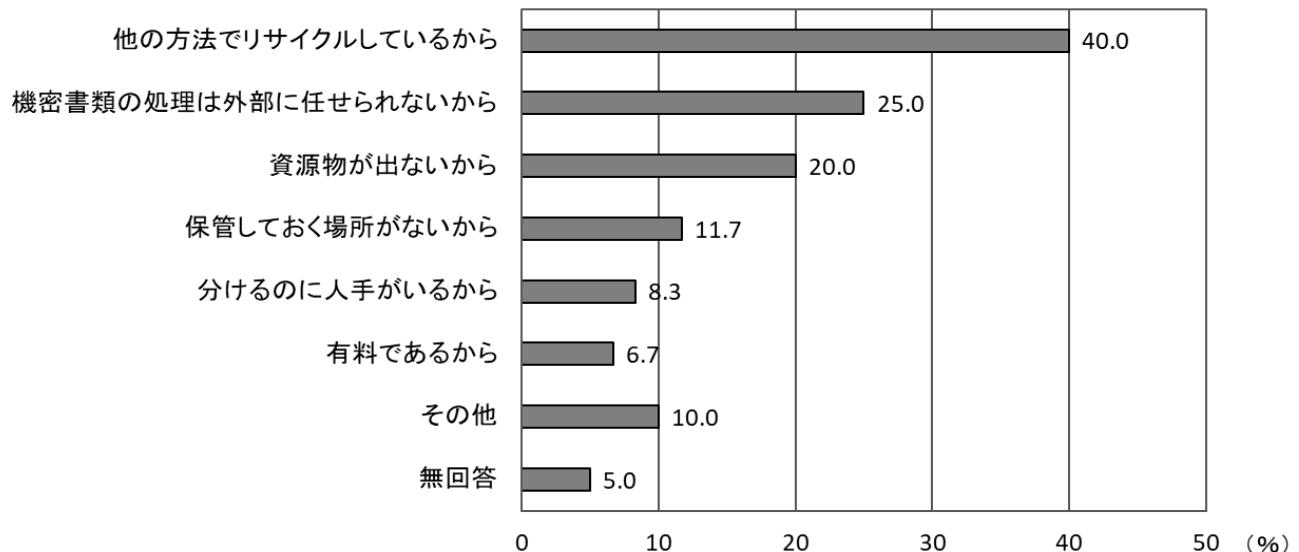
(4) ちゅうおうエコ・オフィス町内会の認知・参加（単一回答）

「知らなかった」が 89.9%と 9 割近くを占め、次いで「知っているが参加していない」が 4.7%、「すでに参加している」が 2.0%となっている。



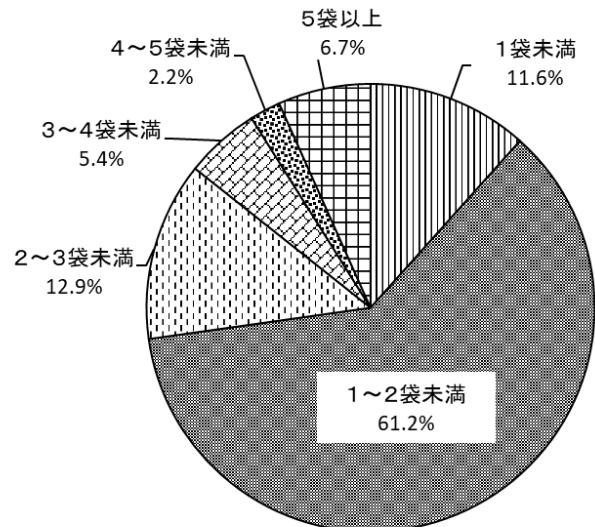
(5) ちゅうおうエコ・オフィス町内会に不参加の理由（複数回答）

(4)の「ちゅうおうエコ・オフィス町内会の認知・参加」で「ちゅうおうエコ・オフィス町内会を知っているが参加していない」と回答した 60 票に対し、不参加の理由を質問した。「他の方法でリサイクルしているから」が 40.0% で最も多く、次いで「機密書類の処理などは外部に任せられないから」が 25.0%、「資源物が出ないから」が 20.0% となっている。



(6) 燃やすごみ収集 1 回当たりの量（数量回答）

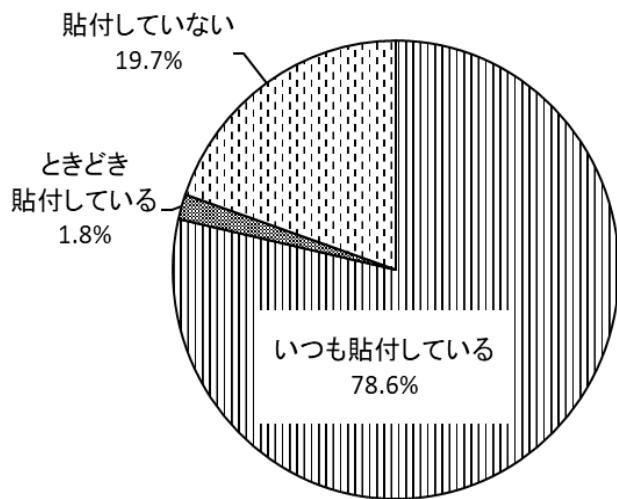
無回答を除く 852 票を集計した。「1～2袋未満」が 61.2% と最も多く、次いで「2～3袋未満」が 12.9%、「1袋未満」が 11.6% となっている。



(7) 有料ごみ処理券の貼付（単一回答）

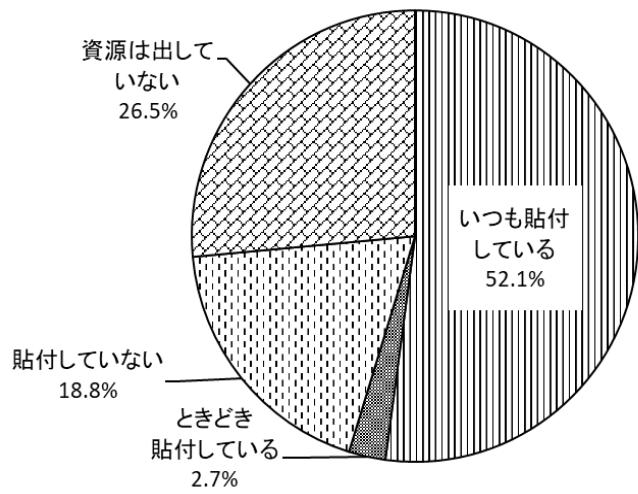
①ごみ

無回答を除く 793 票を集計した。「いつも貼付している」が 78.6% と 8 割近くを占めた。



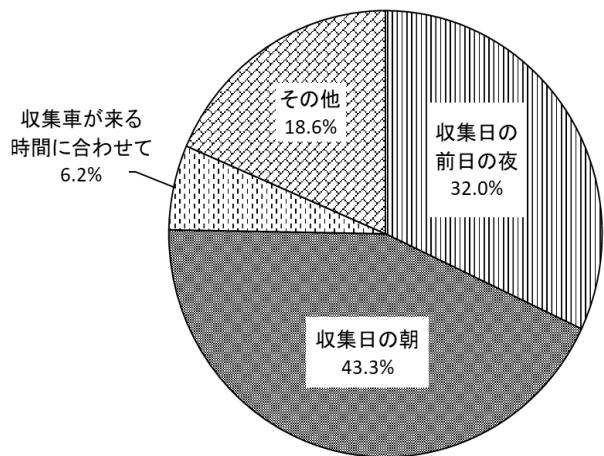
②資源

無回答を除く 752 票を集計した。「いつも貼付している」が 52.1% と 5 割以上を占めた。「資源は出していない」は 26.5% となっている。

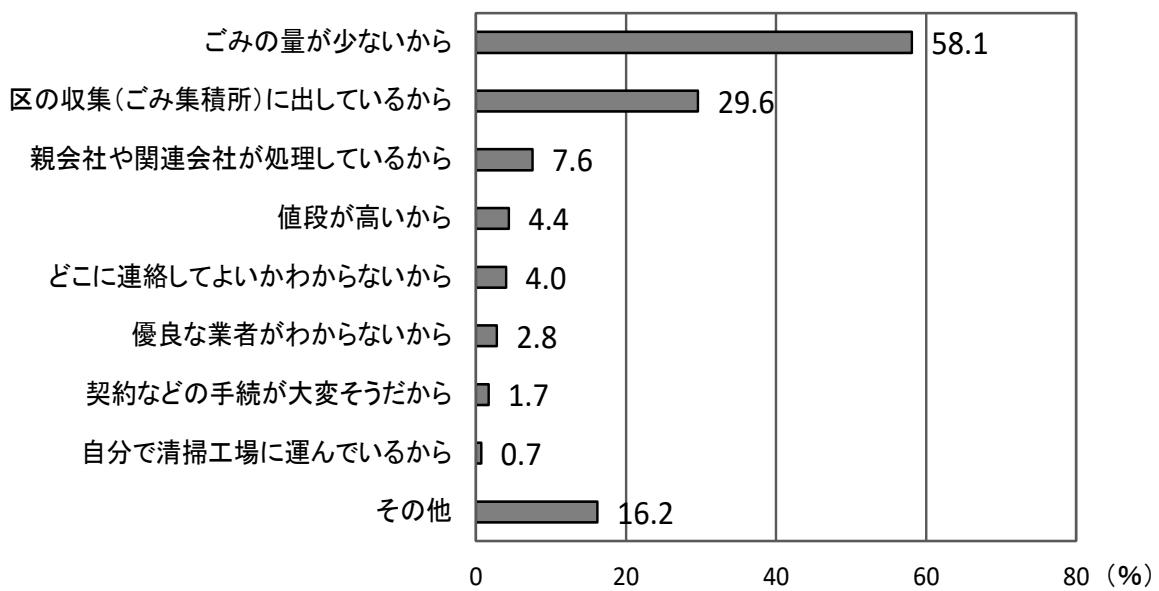


(8) ごみを出す時間（単一回答）

無回答を除く 878 票を集計した。「収集日の朝」が 43.3% と最も多く、次いで「収集日の前日の夜」が 32.0% となっている。

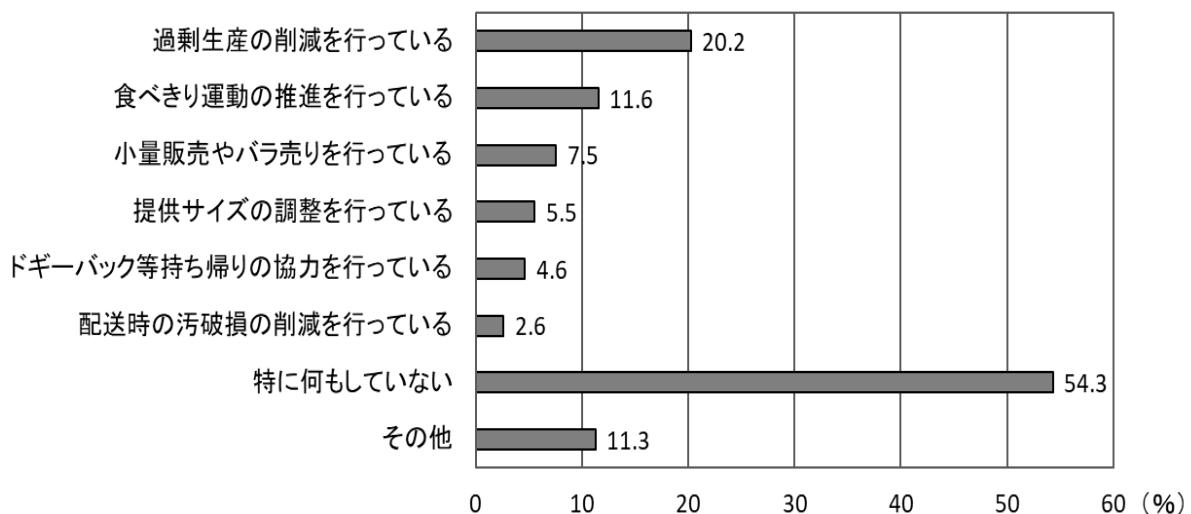


(9) 一般廃棄物処理業者に委託していない理由（複数回答）



無回答を除く 821 票を集計した。「ごみの量が少ないのであるから」が 58.1% と 6 割近くを占め、次いで「区の収集（ごみ集積所）に出しているから」が 29.6% となっている。

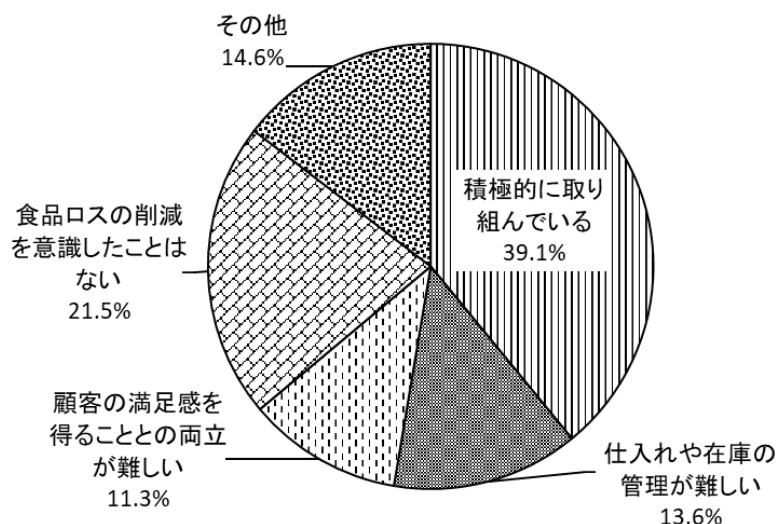
(10) 食品ロスの削減の取組（複数回答）



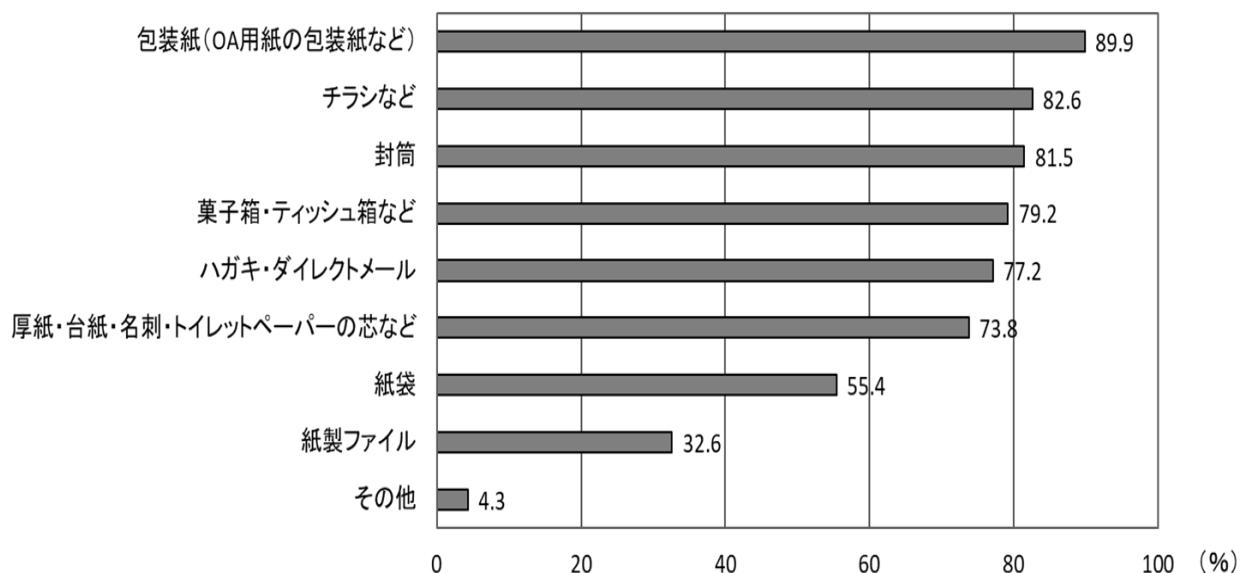
「過剰生産の削減を行っている」が 20.2% と最も多く、次いで「食べきり運動の推進を行っている」が 11.6% である。「特に何もしていない」が 54.3%、「その他」が 11.3% となっている。

(11) 食品ロス削減の考え方（単一回答）

「積極的に取り組んでいる」が 39.1% と最も多く、次いで「食品ロスの削減を意識したことはない」が 21.5%、「仕入れや在庫の管理が難しい」が 13.6% となっている。

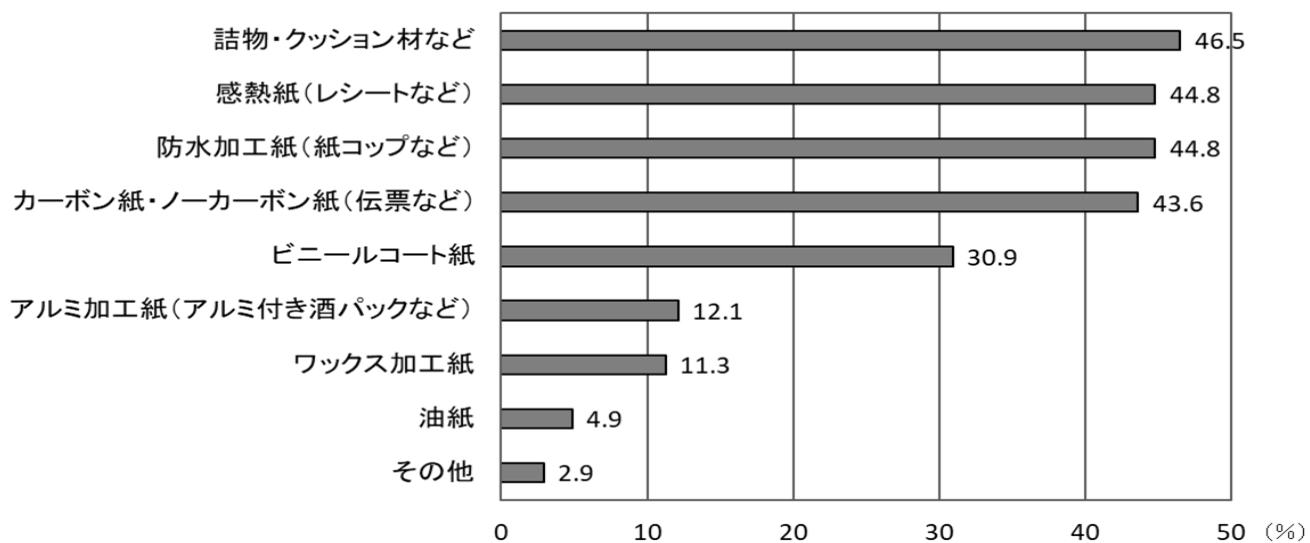


(12) 事業所で発生する紙類【その他リサイクル可能な紙類】(複数回答)



無回答を除く 534 票を集計した。「包装紙 (OA 用紙の包装紙など)」が 89.9% と最も多く、次いで「チラシなど」が 82.6%、「封筒」が 81.5% となっている。

(13) 事業所で発生する紙類【その他リサイクル不可な紙類】(複数回答)



無回答を除く 346 票を集計した。「詰物・クッション材など」が 46.5% と最も多く、次いで「感熱紙 (レシートなど)」と「防水加工紙 (紙コップなど)」がそれぞれ 44.8% となっている。

第7章 中央区のごみ・資源量の推計

1 家庭系ごみ・資源の推計量

(1) 家庭系ごみ・資源の推計量

排出原単位、組成分析調査、行政データ、人口等から推計した令和6年度の家庭系ごみ・資源の量は、ごみ量 24,279.7t、資源量 10,161.6t、合計 34,441.3t である。家庭系ごみ・資源の品目別推計量を表7-1、家庭系ごみ・資源の推計量を表7-2に示す。

排出原単位調査に基づき実際の収集実績から補正した数値を用い算出しているため、令和6年度実績値と異なる場合がある。

表7-1 家庭系ごみ・資源の品目別推計量

単位[t/年]

品目		ごみ量			資源量					合計	
		区収集		小計	区回収		集団回収	店頭回収	自己処理 (ティボーガー)		
		集積所	その他		集積所	その他					
資源	燃やすごみ	燃やさないごみ	粗大ごみ		紙類、びん、缶、調理器具、ペットボトル	プラスチック製容器包装	拠点回収				
	新聞/折込広告	300.4	1.3	301.7	333.7	0.1	809.8	9.7		1,153.3 1,455.0	
	雑誌・その他	2,210.4	4.7	2,215.1	578.8	2.8	1,116.0			1,697.5 3,912.6	
	段ボール	199.4	0.6	200.0	1,353.4	0.0	1,791.7			3,145.1 3,345.1	
	紙パック	121.1	0.0	121.1		0.2	9.6	0.9	9.9	20.7 141.8	
	生きびん	0.0	0.0	0.0	27.9	0.0	0.4	3.0		31.3 31.3	
	雑びん	19.0	46.4	65.4	2,229.3	0.3	13.5	14.6		2,257.6 2,323.0	
	スチール缶	14.0	11.0	25.0	138.9	0.3	37.2	0.0		176.5 201.5	
	アルミ缶	14.5	3.0	17.5	86.9	0.7	93.5	1.1		182.2 199.7	
	調理器具	0.0	45.8	45.8	6.6	0.4				7.0 52.8	
容り プラ	ペットボトル	140.3	1.3	141.6	668.2	4.9	0.0	3.3		676.5 818.0	
	発泡スチロール	61.5	0.0	61.5		6.9	1.6	2.5		11.1 72.6	
	プラスチック製容器包装	3,288.8	29.6	3,318.4		337.7				337.7 3,656.2	
	布類	550.6	2.2	552.8		0.5	66.7	15.0		80.6 633.4	
	電池類	15.4	17.0	32.4		0.1	9.9	1.6		11.1 43.5	
その他資源	蛍光管	0.0	4.9	4.9		0.0	0.9			1.1 6.0	
	小型家電類	40.3	86.1	126.4		0.2	3.3			9.0 135.5	
	生ごみ※1	6,284.9	6.8	6,291.7		8.0	2.5		302.6	312.1 6,603.8	
可燃物	紙くず	3,484.2	5.7	3,489.9		8.4				8.4 3,498.3	
	木・草類	446.9	10.7	457.6		0.9			1.7	2.6 460.2	
	製品プラスチック	844.0	87.9	931.9		34.5				34.5 966.5	
	ゴム・皮革類	217.3	14.5	231.8		0.6				0.6 232.3	
	その他可燃物	2,853.8	12.5	2,866.3		4.4				4.4 2,870.7	
	有害・危険物	9.2	14.5	23.7		0.9				0.9 24.5	
不燃物	その他不燃物	350.9	489.5	840.4		2.6				2.6 842.9	
	小計	21,466.9	896.0	22,362.9	5,423.7	415.4	94.5	3,881.3	42.4	304.2 10,161.6 32,524.5	
粗大ごみ			1,916.8	1,916.8						0.0 1,916.8	
合計		21,466.9	896.0	1,916.8	24,279.7	5,423.7	415.4	94.5	3,881.3	42.4	304.2 10,161.6 34,441.3

※1 拠点回収の廃食用油は生ごみとした。

表7－2 家庭系ごみ・資源の推計量

単位[t/年]

			紙類	びん・缶等 (※)	プラスチック 製容器包装	その他資源	可燃物	不燃物	粗大ごみ	合計
ごみ量 (区収集)	燃やすごみ	A	2,831.4	187.7	3,350.33	606.3	14,131.1	360.0	0.0	21,466.9
	燃やさないごみ	B	6.6	107.6	29.6	110.2	138.1	504.0	0.0	896.0
	粗大ごみ	C	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,916.8	1,916.8
	合計	D=A+B+C	2,838.0	295.3	3,379.9	716.5	14,269.2	864.0	1,916.8	24,279.7
	ごみの組成割合		11.7%	1.2%	13.9%	3.0%	58.8%	3.6%	7.9%	100.0%
資源量	区回収	E	2,278.6	3,164.4	346.2	81.7	59.3	3.4	0.0	5,933.7
	その他	F	3,738.0	166.6	2.5	16.6	304.2	0.0	0.0	4,227.9
	合計	G=E+F	6,016.5	3,331.1	348.7	98.3	363.5	3.4	0.0	10,161.6
	資源の組成割合		59.2%	32.8%	3.4%	1.0%	3.6%	0.0%	0.0%	100.0%
発生量	区収集・回収	H=D+E	5,116.6	3,459.7	3,726.1	798.2	14,328.5	867.5	1,916.8	30,213.4
	その他	I=F	3,738.0	166.6	2.5	16.6	304.2	0.0	0.0	4,227.9
	合計	J=H+I	8,854.5	3,626.4	3,728.6	814.8	14,632.7	867.5	1,916.8	34,441.3
	ごみ量・資源の組成割合		25.7%	10.5%	10.8%	2.4%	42.5%	2.5%	5.6%	100.0%

※ びん・缶等はびん・缶・調理器具・ペットボトルのことである。

(2) 区民1人1日当たりの家庭系ごみ・資源の推計量

家庭系ごみ・資源の推計量を人口で除した区民1人1日当たりの家庭系ごみ・資源の推計量は、ごみ量 356.7g/人日、資源量 149.3/人日、発生量 506.0g/人日である。区民1人1日当たりの家庭系ごみ・資源の推計量を表7－3に示す。

表7－3 区民1人1日当たりの家庭系ごみ・資源の推計量

単位[g/人日]

			紙類	びん・缶等 (※)	プラスチック 製容器包装	その他資源	可燃物	不燃物	粗大ごみ	合計
ごみ量 (区収集)	燃やすごみ	A	41.6	2.8	49.2	8.9	207.6	5.3	0.0	315.4
	燃やさないごみ	B	0.1	1.6	0.4	1.6	2.0	7.4	0.0	13.2
	粗大ごみ	C	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.2	28.2
	合計	D=A+B+C	41.7	4.3	49.7	10.5	209.6	12.7	28.2	356.7
資源量	区回収	E	33.5	46.5	5.1	1.2	0.9	0.1	0.0	87.2
	その他	F	54.9	2.4	0.0	0.2	4.5	0.0	0.0	62.1
	合計	G=E+F	88.4	48.9	5.1	1.4	5.3	0.1	0.0	149.3
発生量	区収集・回収	H=D+E	75.2	50.8	54.7	11.7	210.5	12.7	28.2	443.9
	その他	I=F	54.9	2.4	0.0	0.2	4.5	0.0	0.0	62.1
	合計	J=H+I	130.1	53.3	54.8	12.0	215.0	12.7	28.2	506.0

※ びん・缶等はびん・缶・調理器具・ペットボトルのことである。

○ 中央区の人口 186,496 人（外国人を含む。令和6年10月1日現在）

2 事業系ごみ・資源の推計量

(1) 事業系ごみ・資源の推計量

事業所アンケート調査や行政データから推計した令和6年度の事業系ごみ・資源の量は、ごみ量 64,217.2t、資源量 83,879.3t、合計 148,096.5t である。事業系ごみ・資源の品目別推計量を表7-4、事業系ごみ・資源の推計量を表7-5に示す。

表7-4 事業系ごみ・資源の品目別推計量

単位[t/年]

品目	ごみ量				小計	資源量				小計	合計			
	区分集(集積出)		括込みごみ			区分回(集積出)		店頭回収等	リサイクル業者等 が回収	自社でリサイクル 業者に搬入	自社処理			
	燃やすごみ	燃やさないごみ	燃やすごみ	燃やさないごみ		紙類:びん・缶等の 資源	プラスチック製 容器包装							
新聞・折込広告	280.4	11.5	551.9	0.0	843.8	105.5	3.6	29.1	253.7	24.2	15.6	214.0	645.8	1,489.6
雑誌類	628.9	0.0	899.5	0.0	1,528.4	255.5	0.0	0.0	547.0	13.7	17.7	83.3	917.2	2,445.6
段ボール類	333.2	5.5	18,117.4	0.0	18,456.1	730.5	27.4	253.1	14,443.6	3,258.1	2,758.1	306.4	21,777.2	40,233.3
OA用紙・コピー用紙	256.3	0.0	1,347.1	0.0	1,603.4	-	0.8	2.2	760.2	217.7	194.9	261.5	1,437.4	3,040.8
その他リサイクル可能な紙類	217.6	17.2	937.2	0.0	1,171.9	-	0.3	0.0	330.6	185.5	30.9	136.7	684.0	1,855.9
ショレッダー済み用紙	517.0	11.5	3,274.9	0.0	3,803.5	-	0.0	0.0	601.0	11.8	112.9	318.9	1,044.7	4,848.2
その他リサイクル不可な紙類	776.8	3.9	2,173.1	0.0	2,953.9	-	0.0	0.0	270.1	2.8	57.1	63.8	393.8	3,347.7
生ごみ	3,440.4	25.2	13,571.6	0.0	17,037.2	0.0	0.0	0.0	4,333.2	3,383.9	1,729.2	208.4	9,654.6	26,691.8
廃食用油	2,220.7	25.9	2,034.3	0.0	4,281.0	0.0	0.0	0.0	1,885.8	69.5	20.0	229.2	2,204.4	6,485.4
その他の可燃物	490.1	11.5	9,534.4	0.0	10,036.0	0.0	0.0	0.0	2.8	40.2	235.0	172.1	450.2	10,486.2
ペットボトル	293.0	73.3	0.0	248.7	615.0	397.5	10.3	92.5	4,964.0	21.9	73.7	172.3	5,732.1	6,347.2
発泡スチロール	192.8	45.0	0.0	56.4	294.3	0.0	61.9	5.8	200.6	344.5	8.7	1,329.3	1,950.9	2,245.2
その他プラスチック	144.9	60.7	0.0	137.0	342.5	0.0	87.3	14.2	22,154.8	8,260.1	30.5	1,379.8	31,926.6	32,269.2
ガラスびん	422.2	28.8	0.0	130.0	581.0	1,162.2	0.9	215.9	831.7	11.3	34.9	181.8	2,438.6	3,019.6
缶	418.5	33.0	0.0	106.7	558.2	103.8	8.3	96.8	1,903.4	3.9	21.6	201.6	2,339.5	2,897.7
その他の不燃物	14.8	77.0	0.0	19.1	110.9	0.0	0.0	0.0	45.6	5.0	12.9	218.8	282.2	393.1
合計	10,647.6	430.1	52,441.6	697.9	64,217.2	2,755.0	200.9	709.5	53,528.3	15,854.1	5,353.7	5,477.9	83,879.3	148,096.5

※雑誌類のエコオフィス町内会回収分には、その他の紙類が含まれる。

表7－5 事業系ごみ・資源の推計量

単位[t/年]

				紙類	びん・缶・パットボトル	プラスチック	可燃物	不燃物	合計
ごみ量	燃やすごみ	区収集	A	3,010.2	1,133.8	337.7	6,151.2	14.8	10,647.6
		持込ごみ	B	27,301.2	0.0	0.0	25,140.3	0.0	52,441.6
		小計	A+B	30,311.4	1,133.8	337.7	31,291.5	14.8	63,089.2
	燃やさないごみ	区収集	D	49.7	135.1	105.7	62.6	77.0	430.1
		持込ごみ	E	0.0	485.4	193.4	0.0	19.1	697.9
		小計	D+E	49.7	620.5	299.1	62.6	96.1	1,128.0
	合計	区収集	G=A+D	3,059.8	1,268.9	443.4	6,213.8	91.7	11,077.7
		持込ごみ	H=B+E	27,301.2	485.4	193.4	25,140.3	19.1	53,139.5
		小計	G+H	30,361.1	1,754.3	636.8	31,354.2	110.9	64,217.2
	ごみの組成割合			47.3%	2.7%	1.0%	48.8%	0.2%	100.0%
資源量	区回収		J	1,123.6	1,683.0	149.2	0.0	0.0	2,955.8
	その他		K	25,776.4	8,827.2	33,728.3	12,309.3	282.2	80,923.4
	合計		J+K	26,900.0	10,510.2	33,877.6	12,309.3	282.2	83,879.3
	資源の組成割合			32.1%	12.5%	40.4%	14.7%	0.3%	100.0%
発生量	区収集・回収		M=G+J	4,183.5	2,951.9	592.6	6,213.8	91.7	14,033.5
	その他		N=H+K	53,077.6	9,312.6	33,921.7	37,449.6	301.3	134,062.9
	合計		M+N	57,261.1	12,264.5	34,514.4	43,663.4	393.1	148,096.5
ごみ量・資源の組成割合				38.7%	8.3%	23.3%	29.5%	0.3%	100.0%

(2) 従業員1人1日当たりの事業系ごみ・資源の推計量

事業系ごみ・資源の推計量から求めた従業員1人1日当たりの事業系ごみ・資源の推計量は、ごみ量 227.4g/人日、資源量 297.0g/人日、発生量 524.3g/人日である。従業員1人1日当たりの事業系ごみ・資源の推計量を表7-6に示す。

表7-6 従業員1人1日当たりの事業系ごみ・資源の推計量

単位[g/人日]

			紙類	びん・缶・パットボトル	プラスチック	可燃物	不燃物	合計	
ごみ量	燃やすごみ	区収集	A	10.7	4.0	1.2	21.8	0.1	37.7
		持込ごみ	B	96.7	0.0	0.0	89.0	0.0	185.7
		小計	C=A+B	107.3	4.0	1.2	110.8	0.1	223.4
	燃やさないごみ	区収集	D	0.2	0.5	0.4	0.2	0.3	1.5
		持込ごみ	E	0.0	1.7	0.7	0.0	0.1	2.5
		小計	F=D+E	0.2	2.2	1.1	0.2	0.3	4.0
	合計	区収集	G=A+D	10.8	4.5	1.6	22.0	0.3	39.2
		持込ごみ	H=B+E	96.7	1.7	0.7	89.0	0.1	188.1
		小計	I=G+H	107.5	6.2	2.3	111.0	0.4	227.4
資源量	区回収	J	4.0	6.0	0.5	0.0	0.0	10.5	
	その他	K	91.3	31.3	119.4	43.6	1.0	286.5	
	合計	L=J+K	95.2	37.2	119.9	43.6	1.0	297.0	
発生量	区収集・回収	M=G+J	14.8	10.5	2.1	22.0	0.3	49.7	
	その他	N=H+K	187.9	33.0	120.1	132.6	1.1	474.6	
	合計	M+N	202.7	43.4	122.2	154.6	1.4	524.3	

3 中央区のごみ・資源の推計量（全体）

令和6年度の中央区におけるごみ・資源の推計量は、家庭系ごみ・資源が34,441.3t、事業系ごみ・資源が148,096.5t、合計182,537.8tである。中央区のごみ・資源の推計量を表7-7、公共関与別内訳を表7-8に示す。

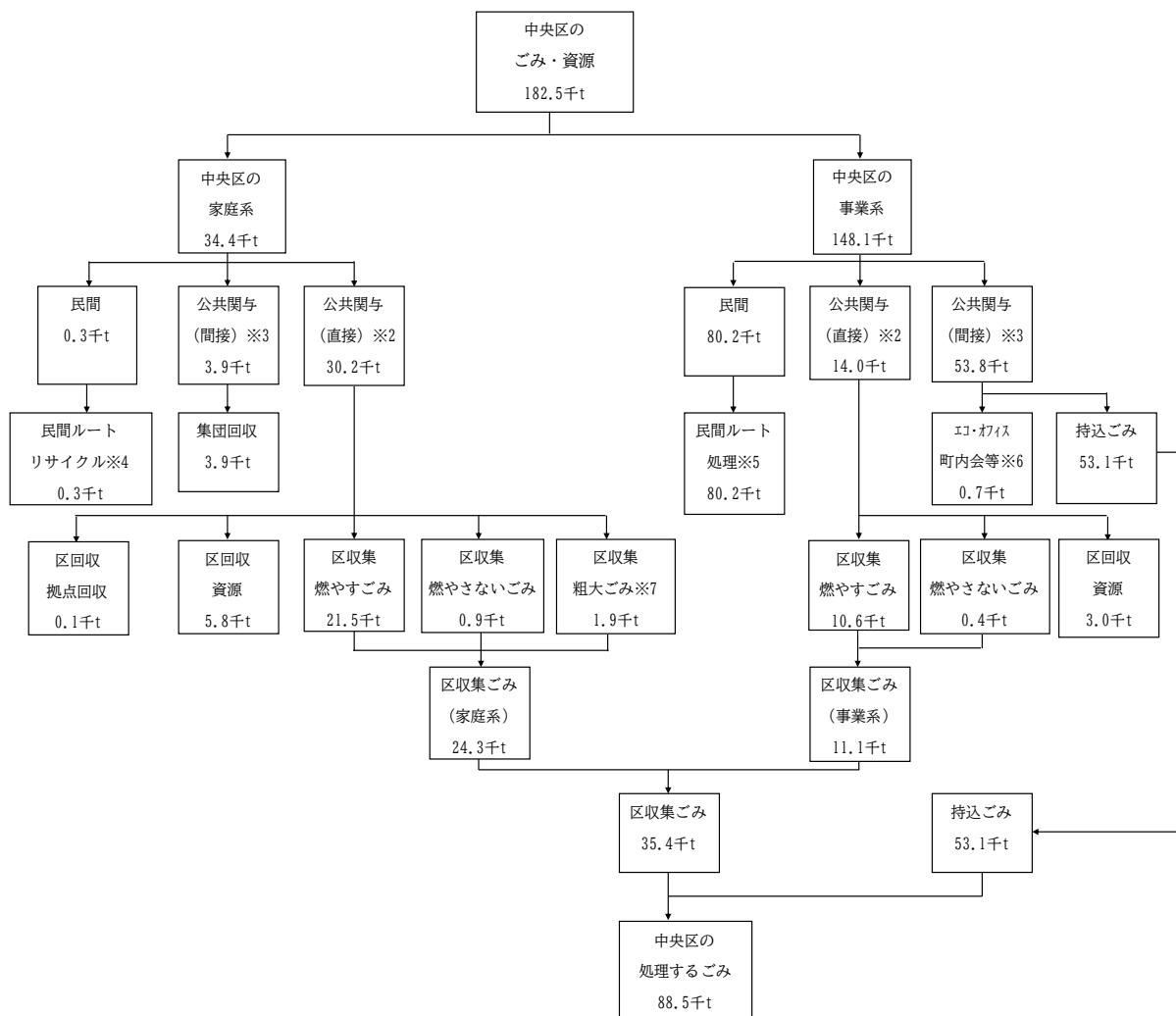
また、中央区のごみ・資源の発生および処理のフローを図7-1に示す。

表7-7 中央区のごみ・資源の推計量

単位[t/年]

ごみ量	燃やすごみ	区収集	A	家庭系	事業系	合計	比率	
			持込ごみ	21,466.9	10,647.6	32,114.5	66.8%	33.2%
ごみ量	燃やさないごみ		小計	A+B	63,089.2	84,556.0	25.4%	74.6%
	区収集	D	896.0	430.1	1,326.1	67.6%	32.4%	
		持込ごみ	E	0.0	697.9	697.9	0.0% 100.0%	
資源量		粗大ごみ(区収集)		小計	D+E	896.0	1,128.0	2,024.0
	G		1,916.8	0.0	1,916.8	100.0%	0.0%	
	合計	区収集	H=A+D+G	24,279.7	11,077.7	35,357.4	68.7% 31.3%	
		持込ごみ	I=B+E	0.0	53,139.5	53,139.5	0.0% 100.0%	
		小計	H+I	24,279.7	64,217.2	88,496.9	27.4% 72.6%	
資源量	区回収	K		5,933.7	2,955.8	8,889.5	66.7%	33.3%
	その他	L		4,227.9	80,923.4	85,151.3	5.0%	95.0%
	合計	K+L		10,161.6	83,879.3	94,040.9	10.8%	89.2%
発生量	区収集・回収	N=H+K		30,213.4	14,033.5	44,246.9	68.3%	31.7%
	その他	O=I+L		4,227.9	134,062.9	138,290.8	3.1%	96.9%
	合計	N+O		34,441.3	148,096.5	182,537.8	18.9%	81.1%

図 7-1 中央区のごみ・資源の発生および処理のフロー



※1 このフローは、100t未満を四捨五入している。

※2 区が主体となって収集している事業

※3 区は関わっているが、区民や事業者が主体で取り組んでいる事業

※4 新聞販売店の回収、販売店の自主回収、自家処理、ディスポーザー等

※5 リサイクル業者との直接契約等により処理（下記「ちゅうおうエコ・オフィス町内会」分を除く。）

※6 「ちゅうおうエコ・オフィス町内会」は、オフィスから排出される紙類をリサイクルするシステム

※7 粗大ごみの中からリサイクル可能な小型家電を選別している。

表 7-8 中央区のごみ・資源の推計量（公共関与別内訳）

単位 [千t/年]

		ごみ			資源			合計		
		家庭	事業	合計	家庭	事業	合計	家庭	事業	合計
公共関与	直接	24.3	11.1	35.4	5.9	3.0	8.9	30.2	14.0	44.2
	間接	0.0	53.1	53.1	3.9	0.7	4.6	3.9	53.8	57.7
	小計	24.3	64.2	88.5	9.8	3.7	13.5	34.1	67.9	102.0
民間ルート		0.0	0.0	0.0	0.3	80.2	80.5	0.3	80.2	80.5
合計		24.3	64.2	88.5	10.1	83.9	94.0	34.4	148.1	182.5

中央区ごみ排出実態調査報告書
令和7年3月発行

刊行物登録番号
6-103

編集・発行 中央区環境土木部中央清掃事務所
〒104-0031 東京都中央区京橋1-19-6
電話 03-3562-1523

調査協力 株式会社ダイナックス都市環境研究所
〒105-0003 港区西新橋3-15-12 GG HOUSE 5階
電話 03-5402-5355